愛國婦人

明治四十五年四月二十二日納本
同二十四日發行（毎月二回十日二十五日發行）

愛國婦人會機關

●特別附錄（愛國婦人會總裁閑院宮妃殿下の御歌並御書を特別附錄として本號に添付す）

愛國婦人十年間の變遷と將來

文司

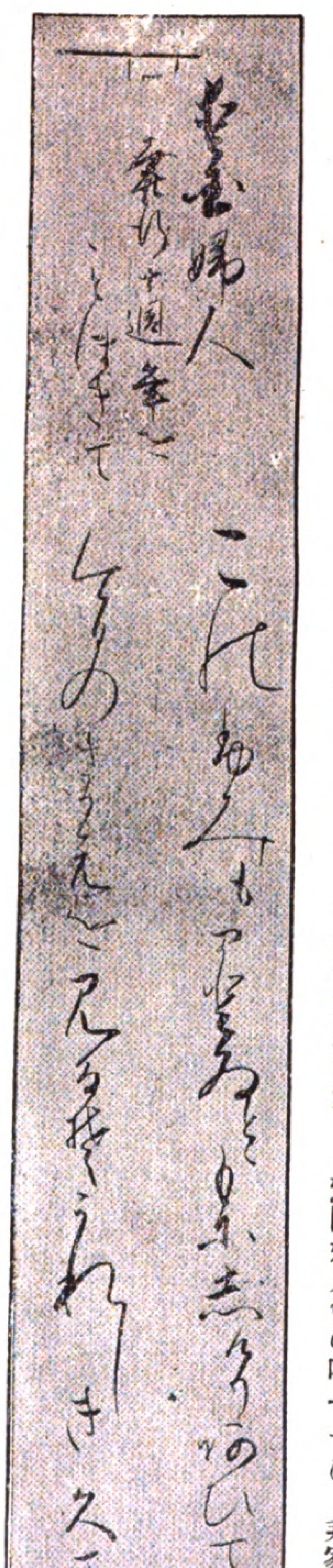
陽春四月二十四日、日暄に花深き今日しも、わが『愛國婦人』は、玆に創刊滿十周年を迎へて、其記念號を發刊することゝなりました。十年の春秋、敢て短しと言ふべきでありませんが、永世不滅なるべき愛國婦人會の機關たる、本紙の性質上より觀ますれば、實に唯生存の一分時を經過し、單に立歩、自己の天職を自覺し、漸く其任務に盡すの域に進まんと致して居るのみに過ぎませぬ。けれども、十年一昔と言ふ俚諺もありますので、聊か記念の祝意を表し、併せて過去を回憶し、且つ本紙將來の覺悟をも開陳たいと存じます。

回顧致しますれば、本紙が初めて呱々の聲を擧ましたのは、去る明治三十五年三月二十七日のことで御座います。即ち明治三十四年彌生の春、櫻花國婦人の精華たる愛國婦人會が、軍人後援の大使命を帶び、遺族廢兵救恤の旗幟鮮明に押し立てられましてから、正に滿一ヶ年後のことであります。而して其創刊を見るに至つたのは、其當時本會に最も深き關係を有されました故近衞公、小笠原子爵、陸軍少將佐藤正氏及其他諸氏の發起に因り理事並評議員會の議決を經て生れ出たのでありますが、直接之が經營の衝に當り、熱心に保育教養せられた、本紙の保姆とも稱すべきは、現に當發行所の相談役たる山澤俊夫氏であります。氏は當時大日本女學會に於て、女學講義並女學雜誌を發行しつゝあつて、頗る多端の折りからにも拘はらず、幾多の困難を偲び、發行所を自宅内に設けて、傍ら本紙の發行經營に努力されました。元來雜誌經營の事業は、決して容易の業ではありません。殊に事の創業時代に於ては、幾倍の熱誠と奮闘とを要するのは必然の理であります。本紙は先づこゝに、山澤氏が過去に於ける深き愛育に對して、厚く感謝の意を表せねばなりませぬ。

本紙は其後山澤氏の手を離れて、明治三十七年度に於て、發行所を本會内に引移し、當時本會事務長代務たりし佐藤陸軍少將の監督の下に經營さるゝ事となり、而して明治四十三年度に至り、佐藤少將は本會を去られました。其七ヶ年間には、種々なる事故が湧起て、少將も尠からぬ困苦を偲び、熱誠盡力されましたが、遂に多少の盛衰は免れませんでした。或は雨降り空暗き事あり、或は雲霽れ月明なることあり、榮枯恒なき世の慣例に漏るる事が出來なかつた。從つて憂慮すべき狀態に陷らんと致したこともありましたが、幸に本會顧問清浦岡部の兩子爵之れが、秩序回復に焦慮盡力せられ、其他諸氏の誘導扶掖に依つて、今や發行部數も日に月に增加し、其基礎も日を逐ふて堅實を加へ、獨り本會員の爲めのみならず、汎く我國婦人の爲めに、聊か將來の大發展を企圖し、以て本紙の大使命を果すことを得るの期に近づきました。

本紙は前述の如く、愛國婦人會の唯一なる機關雜誌でありますので、本紙の責務が、會の主義目的を普及し、會運發展の任に當るにあるのは勿論でありますが、經營者の誰たるを問はず、初號より今日に亘り、誠心誠意努力致しましたのは、一般婦人社會の木鐸として、婦人の美風を尊重し、短所は之を矯正し、道義を鼓吹し、質素勤儉の思想を鼓舞し、忠君愛國の精神を倍々家庭に注入して、女性的大和魂の發達を圖り、傍ら健全なる常識と高尚なる趣味とを養はしめ、以て日本婦人をして、主婦として、母として、世界の模範婦人たるの名聲を確實永久に保有せしめんとするにありました。併し思ふ事の萬一を果したに過ぎませんが、以上過去に於ける本紙の覺悟と希望は依然として前途に遙に光り輝つゝあるのであります。

別項清浦子爵並堀内陸軍少將の所說の如く、我國は現今一方ならざる危機に逢着て居りますが、婦人の行動が、國家の興亡盛衰の上に、如何に重大なる關係を有する者であるかは、單に歷史上の事實のみでなく目前に立證するものがあります。此秋に當つて、苟も我日本婦人たる者は、一擧一動にも愼重なる注意を拂ひ、邦家の進運を祈り、宜しく活躍せなければならぬのではありますまいか。終りに臨み、吾人等は本會々員並讀者諸姉が從來永年本紙に與へられたる厚意を鳴謝し、併せて諸姉の健康を祈り、且つ今後倍々厚き諸姉の同情と贊助とを得て、愈益皇國の爲めに貢獻致したいのであります。



公爵母堂
岩倉久子氏

伯爵夫人
阿部篤子

本號主要目次

▲愛國婦人十年間の變遷と將來
▲祝歌、祝句……岩倉公爵母堂、阿部伯爵夫人、大谷光演氏、三輪田眞佐子氏、棚橋絢子氏、有島幸子氏、高木鎌子氏、阿部龍子氏、阪正臣氏、佐々木信綱氏
▲愛國婦人會の既往と將來……清浦子爵
▲愛國婦人記念號發刊に當りて……堀内陸軍少將
▲同……加藤男爵
▲愛國婦人の十周年に至れるを祝ふ詞……阿部東京支部長
▲若き婦人の爲めに……岡田前文部次官
▲女の虛榮は男子の罪也……大隈伯爵
▲最貴きは母……山脇房子
▲教養生教養の一階段……磐原所長
▲嫁と姑……鳩山春子
▲書道眞訣……横地正邦
▲近親の話……井上傳士
▲マントの製法……堀越千代子
▲奥様とお鍋……芳讃
▲講談大沼久太夫と大高源吾……細川風谷
▲其他、家庭の實驗、料理、懸賞和歌俳句等、外に愛國婦人會々報二頁及第十一回總會報告二頁
◎本號附錄共二十四ページ

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

愛國婦人會の既往と將來に就て

愛國婦人會顧問
樞密院顧問官
子爵　清浦奎吾

愛國婦人會の主義目的は、社會が一般に必要なるものとして認識して居ることは勿論であるが、凡て事業は主義綱領が如何に宜しきを得て居ても、發展す可き好機會に遭遇するにあらざれば、容易に發達するものではない。然るに、我愛國婦人會が、今日の如く發展したる所以のものは旗幟の鮮明なるに原因するのは素よりのことであるが、顯著なる動機は對外戰役即ち三十七八年の戰役にあり此戰役は、諸般の事物に關し實物的敎育の效多大なりしは申すまでもない。當時愛國心に富みたる我國民は、外征の將士に對し、燃ゆるが如き滿腔の熱誠を捧げて後援の實を擧げたのであつて、從つて、同時に本會に對する社會の同情が、翕然として聚つたのである。

然し乍ら、如何に動機がありたりとするも、單に動機のみに依つて、單獨に發展すべきものでない。必ずや之を運用するに其人を得なくてはならぬ。之に就ては、會長として最も衆望に副ひ、殆んど百萬に近きの會員の慈母とも呼ばれる程の德望を有つて居られた岩倉前公爵夫人が居られた。又會員としては、本會の主義目的を鮮明にし、汎く其の趣旨を說き擴めて、良く婦人を敎化して往くやうな人物が最も必要であつたが、夫には本會の主唱者たる奧村刀自が、最も熱烈に、殆んど晝夜不休不眠草鞋がけで奔走さるると云ふやうな有樣で、且其他の關係者も皆頗る熱心に活動された結果、明治四十年頃迄の間に、愛國婦人會の基礎は堅實に築造されたのである。

明治三十四年本會が初めて呱々の聲を擧げてから、四十年に至る間を、本會の創業時代と思ふ。

此の創業時代には、之れを開拓して發展せしむべき餘地も多く、且人々の熱心も守成時代とは自ら異なる所があり、加之對外戰役なる絶好の動機があつたので、從つて會運も大に隆盛を極めたのである。而して四十年以後の本會は即ち守成時代にありと見ねばならぬ

然るに四十年頃よりは、愛國婦人會は戰時に於ては必要であるが、平和時代には無用の長物ではないかと云ふやうな評も起り、甚だしきに至つては、愛國婦人會は虛榮的權化の婦人達の道樂機關とも云ふべきものであると云ふやうな中傷的讒謗の噂も聞かれたのであるが平和の時代に於ても、本會が必要であることは、今更ら喋々するまでも無い。所謂治に居て亂を忘れぬ道理で、戰時に當つて活動すべき要素を、平和の時代に於て確實に定めて置くことの肝要は、論を待たぬ處である。

さりながら、四十年後の守成時代に至つては、創業時代と異りて、會が眠つて居るとは云へぬが、さまで活動が出來ぬやうに思はれた。勿論戰役時代と違ひ、活動せんとしても其の機會が乏しいのは止むを得ぬ處であるが、本會が唯現狀の如くにして今日以後を經過したならば、將來僅に餘命を保つに過ぎずして、會運をして益々隆盛ならしむる事は、到底不可能ではあるまいか。かくては本會の存立は無意義である。苟も會が會として存在する以上は、其の効績價値を社會に認識らるゝにあらざれば、無用の長物と批評せらるゝも、蓋し之に對し其答辯に苦しまざるを得ざるべし。

本會の總會開催に際し、　皇后陛下の行啓を仰ぐの光榮に接する事は、誠に有難き次第で、感泣の極である年一回の總會を閉催して、會員を集め、盛大なる催を爲すのも必要なれども、是等の形式的企圖は當座の花火にて、美觀は美觀なれども、未だ以て深く會員の心を感動奮起せしむるに十分なりとは認められぬ。陳腐的飜案の演劇視する者なきを保ち難し。本會が尙將來十分に發展せんことを望めば、熱烈なる宗敎的感化の如き思想を以て各會員が本會の爲めに努力奮闘する程の意氣を惹起させねば駄目である。今日と雖も、獻身的に立働く事奧村女史の如きを得らるゝや如何は識らぬが、相當の人物を地方に派遣して、大に本會の主義を鼓吹し、趣旨を普及せしむる事が至極緊要と信ずるのである。

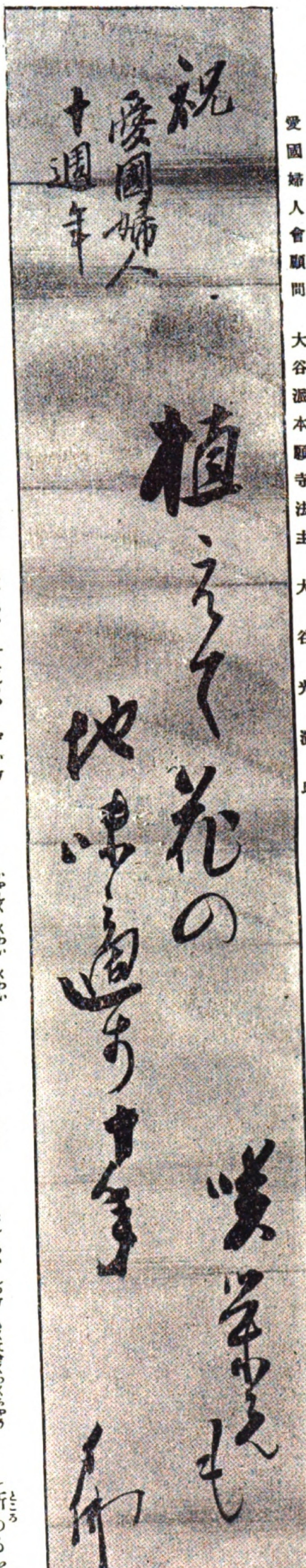
又本會の主義目的は定まりたるものあるも、前述の如く、平和時代に於ては無用の長物なりと他から譏る人もある位、又會員の氣も自然と惰眠に陷から、平時に於ても亦相當の事業に活動する事が必要ではあるまいか、即ち獨り軍人遺族並廢兵に對する、所謂軍人後援のみでなく或は國家の爲め生命を犧牲に供して立働く者、即ち警察及び消防に從事する職員等の上にも、本會の主義目的を擴張して施設せしめたならば、其の全きを得るの道ならむとか考へらるゝのである。

尙又、本會唯一の機關雜誌「愛國婦人」此の雜誌を最も愛讀すべき、趣味津々たる、有効有力なるものとし、而して其勢力に依り、單に愛國婦人會員の增加、擴張等の目的のみにあらず、一般婦人社會に於て、德操涵養、正義誘導の羅針盤として、又燈明臺として瞻仰すべきものであると云ふ丈の光彩を示す事が頗る肝要である。

現今一部の論者中には、我國々民道德の上に就て、頗る悲觀說を唱ふる者があり、其結果、國民道義の涵養啓發を目的と爲るさま〴〵の團體等が組織され、且又文部並に內務の當局者中に於ても、同一目的を以て敎育及宗敎上に種々劃策し或は希望さるゝ處あるは、至極結構と云はねばならぬ。我國民道德の現情が、一部の悲觀論者の唱ふるが如き程度迄に衰頽して居るか否かは、稍疑ふ可き餘地があるが、兎に角歐米の思想は今や大波の如く我國に打ち寄せ來りて、我國民の思想上に甚大なる變化影響を及ぼし、爲めに幾多の利益を與へたのと同時に、又幾多の弊害を現はし、好ましからぬ現象を生じ來つたのは、爭ふべからざる事實である、殊に我國は、太平洋を通して某國と最も近接して居り、從つて交通も頗る頻繁なる結果、我國に最も多く輸入された思想は、穩健なる英國紳士の態度よりも剛毅勤儉なる獨逸國民の風よりも、近接せる某國の思想風習殊に所謂成金の勢力たる奢侈虛榮の風潮が、太平洋の波浪を橫斷して、滔然として我國に襲來するの恐れがある。之れ實に寒心に堪へぬ次第であるが、其弊の根源に就ては、憚る所あるを以て詳述するを避くと雖も、蓋し思半に過ぐるものがあらう。

奢侈虛榮は如何なる時代に於ても、決して美事でないのは勿論であるが、特に我國財政經濟の現狀に顧みて、戰慄の感を禁じ能はぬのである。

我國は、今や世界の一等國中に伍したとは云ふものゝ、國家並に國民の富力は、遙に他の一等國に劣るは素より、二等國にも追附かぬ。漸く三等國に比する位と思ふ。政府の財政は年々尠からぬ缺陷を示し、貿易は年々輸入超過の狀態に在り、一億圓以上の輸出貿易品は單に生絲の一品に止まると云ふが如き現狀では、如何に慾目を以て打算しても、三等國の伍班に列するに過ぎぬ。國民の經濟力も頗る薄弱である。而して政府の財政（第三頁に續く）



愛國婦人會顧問　大谷派本願寺法主　大谷光演氏

愛讀者君へ謹告

います　出代金に四月　七月　十一月の三回に御請求致します。其の手續きは郵便はがき又は集金人を差出します。其外都合に依りては郵便局に委託し請求致す事もあります。此の代金を御送りにな[illegible]替で御送金になる時は、拂込口座登記料として金一錢必らず御添へを願ます。

▲振替で御送金の御方には當所から殊更らに

▲郵便切手で御註文又は御送金の節は必らず一割增に願ひ上げます。

▲愛國婦人發行所の振替口座番號は每號新聞

▲お手紙の御住所御姓名は明瞭にお認め下さい御轉居の節は、必らず新舊御住所御認めを願ひます。

愛國婦人發行所

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

は斯く不振憂うべき狀態にあるのにも拘はらず、兎に角國家の體面を保ち對外權利を全ふするには、軍備其他の點に於て多く他の國に劣る事は許されぬ。如何なる困難を嘗めても、爲すべきだけの仕事は爲さねばならぬ。思ふて茲に至れば、我國の現狀は噴火坑の上に立つが如しと云ふのも、强ち誣言にはあらざるべく、頗る憂慮に堪えぬ有樣である。故に我々國民は大に努力奮闘し、專ら勤儉質素を旨として、國家の經濟を豐富ならしむべく所謂臥薪嘗膽の痛苦を嘗めるは此秋にありと云はねばならぬ。

斯の如く國家困難逼迫の時期に際して更に贅澤虛榮の風潮が國民に感染して、世を毒するに至つては、愈々國家の破產を豫想するのも强ち杞憂ではあるまい。然るに、奢侈虛榮の弊風に先づ感染し易きものは、虛飾自ら喜ぶことを通有性とする女である。現今の日本婦人が、どの位の程度にまで奢侈虛榮に流れて居るかを知らむとするには、其身に着せる衣服、其髮を飾る裝飾具、其指に篏めたる寶玉類、其足に穿つ履物等を注視すれば、一目瞭然、早くも既に此極に至るかの感を禁ずる能はざるべし。獨乙國が、其富强を圖る上に於て熱烈なるは、驚くべき有樣なるが、左の獨乙實業十戒並に十戒の歌を一讀すれば寒貧の我が國民赧然たらざるを得ざる次第である。

●獨逸實業十戒の歌

一、多き寡きとりどりに、費すたからは異なれど、御國にすめる同胞の、利益てふことを心せよ。

二、見る目まばゆき異國の、たへなる品を買はん時、忘るゝ勿れ束の間も、なが住む國の貧しさを。

王、富める貧しきおのがじゝ、異なりとてもなが黄金あだにな用ひそはらからの、利益を圖らんとの外。

四、よしや御國に類なき、ものといふともこと國の、機械用ひてうるはしき、わが工場を汚すなよ。

五、五味は珍のあればとて、なれが折敷のその上に、異國よりのくさぐさを、ゆめ盛らしむこと勿れ。

六、御國にいづる紙の上、書くは御國の筆と墨、吸とり紙の果までも、言ふこと勿れ異國と。

七、御國にいでしうまし粉や、うまし果實にうまし酒、まことの國民の精力を、なが身に與んものぞこれ。

八、寒きこの土の民にして、モールトカフヰーを好まずば、海の外なる殖民地、御國の土より來るを飲め。

九、御國にいづるおりものに、なが身の衣を作れがし、なれが頭を飾らんは、御國になりし帽のみぞ。

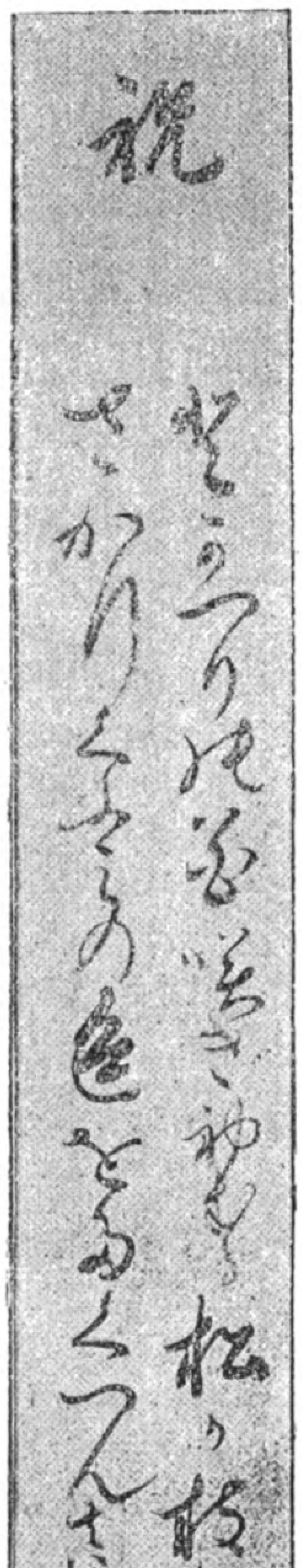
十、口には甘き蜜あるも、こと國人の言の葉に、耳傾けてときのまも、忘るゝ、勿れこの敎。人は何ともいはゞいへ、祖國の土に生ひたてる、ゲルマン族の血を享けし、わが同胞に適はんは、御國にいづる物をおき、外にあらじと知りれかし。

●獨逸實業十戒

一、いかなる支拂をなすにあたりても、常に同國人の利益てふことを念頭におけ。

二、外國の貨物を購ふに際しては、常に爾の國は更に貧弱なりといふことを忘るゝ勿れ。

愛國婦人會理事　三輪田眞佐子氏



三、爾の有する金錢は、獨逸人の外、以て何人をも利すべからず。

四、外國製の機械を利用して以て獨逸製造場を汚すこと勿れ。

五、外國產の食料品をして爾の食卓に上らしむること勿れ。

六、獨逸製の紙に獨逸のペンとインキとを以て書け、而して獨逸の吸墨紙を使用せよ。

七、爾の身體に眞に獨逸人的精力を附與するものは、獨り獨逸產の粉、獨逸產の果物、及び獨逸產の麥酒あるのみ。

八、爾、若し獨逸產のモールト珈琲を好まずんば、獨逸殖民地より來る珈琲を飲むべし。

九、爾の衣服としては、獨り獨逸產の布帛を用ふべく、頭にいたゞくには、獨逸製の帽子を以てすべし。

十、外人の甘言によりて、是等の敎訓を忽に思ふこと勿れ、假令他人は何と言ふとも、獨逸祖國の人民が使用すべきものは、獨り獨逸國內の產物のみ

愛國婦人會理事　棚橋絢子氏

といふことを確信せよ。

元來剛き男子は、柔き女子に對しては却て弱きものであるから、或る點に付きては男子が却て婦人に化せられ易き傾向がある。一家の主婦たるべき女子が先づ自ら質素勤儉の美風を示し、家庭を整理し子弟を導いて往つたならば、一家の健全は期して待つべしである。而して一家の健全は即ち一國の富强であつて、我日本國を富强ならしむる事は、前述の如く實に焦眉の急である。

兎に角我國の婦人をして奢侈虛榮の惡潮に陷溺せしめず、益々勤儉質素の風を養ひ、德操を堅固ならしむるは、急務中の急務である。愛國婦人會は質素主義を執り、總會の時などには、綺羅を飾ることを避け、上會長を始め一般會員、衣服より帶に至るまで、極めて質素なる一定の衣服を着用せらるゝは、愛國婦人會員たるの特色を發揮せらるゝ所以にて、誠に美事と云ふべく、其他の場合に於ても斯くこそありたきものである。上流階級に立て衆庶の標準となる人先づ質素を躬行實踐して示す所あれば、其一般に影響する所頗る廣大であらう。

愛國婦人會及其會員たる者、戰時に處するの心を以て心とし、貢献する所あらば、豈無用の長物たるの批難あらむや。虛榮的權化の婦人連の道樂機關たりなど云ふ如き譏誣を狹むの餘地あらむや。軍人後援的必要機關たるは勿論、婦人界に於ける風敎機關として、社會一般に之を尊敬し、之を歡迎するに至るであらう。

●愛國婦人の十周年に至れるを祝ふ詞

愛國婦人會東京支部長　阿部龍子

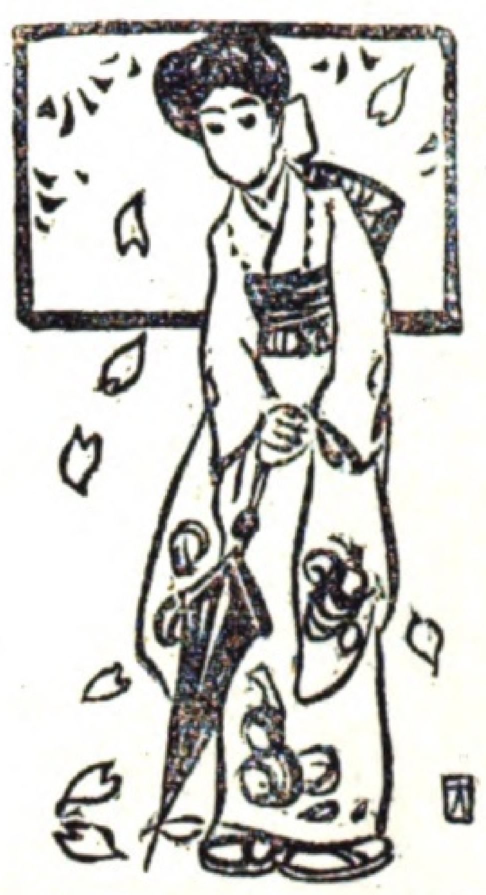
今茲に愛國婦人發行所より出したまへる「愛國婦人」は、仁慈博愛を旨とし、廢兵又は遺族の救護は更なり、其他體育にまれ、衞生にまれ、學術技藝にまれ、其ゆゑ由を詳かに書き示し、君臣の禮に於ける、父子の親に於ける、兄弟姉妹及び夫婦の情、親戚朋友の道に於ける、尙精神の修養に至るまでもあげ給へるものなれば、引き續き茲に十年を迎ふるは、いとめでたき限りなり。其のふみに載せたまへる內にありては、家庭に德操に、外に對しては交際に救助に、さまざまの訓誨の詞のうるはしきは、春風に薰れる梅に櫻を交へ、桃に柳の糸をかけ、雪の如き梨や李の本に躑躅の照れる、八重山吹の匂へるもありて、海棠の下に富貴の花と呼る牡丹と、艶やかなる芍藥などの妍を競ひ、艶を爭ひて、一園の裡に咲き匂ふを眺つるが如く、百たび千度讀みつるも倦まねば、ふりわけ髮の乙女子にも、老いたるおふなにも面白く聞ゆれば、おのづから自心をひき起し、事しあらば、好しや玉の緖を斷つとも、をみなはをみなの勤をとりて、かしこくも皇國の御ために盡さばやと思ひ立つなる、其文の十とせはものかは、猶この末も、千代萬代と榮えゆかんことを祝ひまつるとて、蔦の葉のつたなき筆にかくなん。

●愛國婦人記念號發刊に當りて

文學博士法學博士男爵　加藤弘之

「愛國婦人」が從來婦人の修養に努むるは余輩の大に感謝する所なるも然かも婦人の人格が往々好ましからぬ傾向にあるは誠に憂慮に堪へざる所なり。今後猶倍々これが矯正に盡されんことを希ふ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

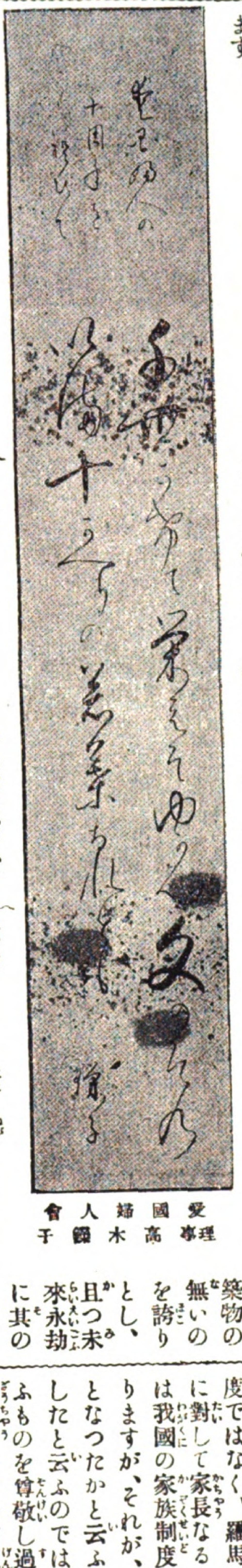


愛國婦人記念號發刊に當りて

愛國婦人會顧問 陸軍少將　堀内文次郎

「愛國婦人會」なる令嬢が生れてから、まだヤット十二歳にしかなりません。然かし此令嬢の任務は中々重く、且大であります。戰時よりも平時の仕事が多くあります。日本が一等國になつたと申しましても其内容は他の一等國と比較するには、前途遼遠しであります。とても富の力、金の力ではダメでありますから、是非愛國の精神を以て他の一等國に負けないやうになし、勤勉と誠實とを以て、倍々大和魂を研き上げるやうに致したいと考へます。

恐れ多き事でありますが閑院宮殿下が、始め愛國婦人會を成立せし際、故近衛公、故岩倉公、下つて私共に陰に陽に御指導を賜はつた事は、容易ならざるもので御座いました。此事は今日私が始めて皆様に申上げて、深く殿下の思召を謝して、永く奮勵を願ひ度いので御座います。思召に叶ふ爲めには、益々愛國の精神を發揮し、婦人と雖も大和撫子の特性ある事を列國婦人に、何れの場合にも示したいと存じます。虚榮に走り、空名を貪り、國の前途を考へざるものは、一人も無くなるやうに、愛國婦人會員の御奮勵を願ひたいのであります。支那の亡國的有様、就中支那婦人の志操が、如何程此亡國に至らしむる點に關係を有して居る乎と云ふ事を、深く皆様に御考を願ひたいのであります。婦人の力は至大であります。國の興亡も、戰の勝敗も、婦人の力が大變に關係を有します。私は終りに更に一つ御願ひ致したいのは、皆様が大戰役――日露戰爭よりモット大戰役が、眼前に迫り居る事を御案じ下されて、誠心誠意、いやまし本會の爲めに御盡し下さる事で御座います。



愛國婦人會 理事高木鐵子

若き女の爲めに

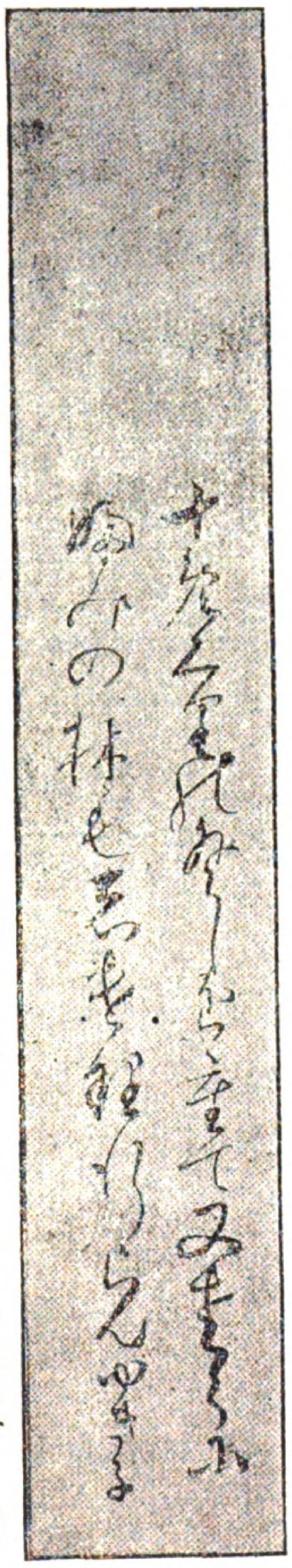
前文部次官　岡田良平

▲若き婦人の誤り易い思想

今や歐米の思潮は、大浪の如く我國に打ち寄せて、殊に若い婦人の頭腦は、彼れか是れかと、事毎に攪亂されて居ります。就中、女學校を卒業して多少世間の事が理解かゝつた位の若い婦人の胸に浮びまして特に其の取捨、是非の判定に迷ひ易ひのは、我國從來の家族制度と、西洋の若夫婦本位の個人主義との良否如何と云ふ問題で、兎もすれば、どうしても昔風の家庭には調和が出來ぬといふことが、昨今或一部の若い婦人の頭腦に漲つて居る思想であります。此の人々の考へでは、西洋のやうに親子別居して、若夫婦は勝手氣儘の生活をするのが、無上の制度と考へられて居るやうでありますが私は之に就て單に理論ばかりでなく一二の實例を擧げて、此種の思想を有つて居られる方の一顧を煩らはしたいと思ひます。

▲個人主義の長所と短所

西洋の個人主義の長所は、年寄つた親が、所謂左り團扇で子供の厄介になつて喜んで居るといふやうな不都合がなく、子供の方でも亦、何時迄も親達の厄介になるのを喜ばず、皆自己の手足なり腦力なりを働かせて、親の家に居ても下宿料を仕拂ふといふやうな、各人獨立獨行して自營自活をすると云ふ美點にあります。此の長所は如何にも結構で、今後我國人は、皆此の考を有たねばならぬのでありますが、こゝに見るに忍びない一つの弊害があります。それは七十八十の老親を子も孫も扶養せず慰藉も與へぬ事でありまして、こゝに至つて個人主義の甚だしき弊害を認めるのであります。私が佛國の巴里で寄寓した家の主人は當時七十歳位の老婆でありましたが、此人には一人の娘と十四人の孫があるので『その子供なり孫なりの世話になり、一緒に暮したならば宜しからう。』と云ひますと、『それは佛蘭西の習慣に反きますから出來ません。』と答へ、そして最後に『養老院に入つて晩年を送る積りである。』と語りましたが、其の言葉の裡には抑へ切れぬ寂寥が現はれて居りました。若夫婦の間ばかりであるならば、成る程個人主義の制度も一寸宜いかも知れませんが、かく年をとり夫に別れた後に、子も孫も一向に顧みて呉ぬとなりましたならば其悲慘なるとは殆んど比較すべき者もありますまい。前の養老院と云ふのは、如此境遇にある老人の多くは自費を以て晩年を此處に送る爲めに建設けられたものでありますが、私は我國に於て此の種の建築物の無いのを誇りとし、且つ未來永劫に其の必要なからん事を希ふのであります。



愛國婦人會 理事有島幸子氏

▲快き家庭主義の勝利

今度は個人主義の寂寥ではなく、謂ば温い家族主義の勝利とも云ふべき一例を擧げませう。長く我國に雇數師として來て居た一獨乙人が、日本婦人を妻に迎へて獨乙へ歸りました。勿論其の獨乙人の兩親を初めとして、親戚友人は悉皆之に不同意を唱へましたが、その婦人がどんなに偉い女であつたかは知りませんが、兎に角、元來家族主義の我家庭に育つた女ですから日本流に夫の兩親や兄弟親戚などに對し現今の獨乙人などの嘗つて覺えの無い程親切を盡しましたので、前に不同意を稱へた人達も、皆日本婦人の情愛は、斯の如く優しいものかと痛く感賞したさうです。

▲更らに大なる理由

蓋し個人主義の短所が、前述のやうな點のみに止まつて居ましたならば、猶考ふべき餘地もありますが、我國では是非共家族主義でなくてはならぬ他の大なる理由は、我國々體の根柢が此の家族制度で成立つて居り歐米諸國とは自ら異なる處があることであります。勿論西洋でも昔から現今のやうな極端な個人主義の制度ではなく、羅馬時代の折りには、家族に對して家長なるものがあり、其の權威は我國の家族制度以上に强かつたのでありますが、それが、何故今日のやうな情態となつたかと云ふと、之は未だ深く研究したと云ふのではありませんが、女と云ふものを尊敬し過ぎた結果、女の放恣を增長させたのが原因であらうと思ます。私は今日西洋の男子が所謂婦人を尊敬すると云ふのは、眞に尊敬するのではなくて寧ろ婦人の放恣を大目に見る事だと解釋するのが至當ではあるまいかと思ます

▲要は婦人の心一つ

然るに此の家族制度を維持して、益々其長所を發揮して行くのはどうあつても婦人の力に待たねばなりません。即ち、家族制度を保つも破るも、皆婦人の考へ一つに由るのでありまして夫たる男子が如何に美しい家族團欒の樂みを造らうとしても、妻たり母たるべき一家の主婦の心持が、こゝに向はなければ、到底此の樂みを維持する事は出來ません若し萬一にも、心得違ひの婦人があつて、此の家族制度が破壞されたならば夫は單に一家の不幸のみに止まらず、又實に一國の爲めにも大に憂慮すべき次第でありますから、くれぐれも思ひ違ひのないやうに致たいものであります。（談）

愛國婦人取次販賣所　京橋區桶町二一四　田口組（電京九三六）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

女の虚榮は男の罪也

伯爵　大隈重信

△女は弱いが當然

婦人の耳には稍々さはるかも知れぬが從來婦人は一般に男子よりも意志が弱かつたやうに思はれた。彼の舊約全書に依つて見ても、先づ最初に惡魔の爲めに魅せられて、墮落したのは、女たるイブであつた。然る後男子の方のアダムも亦墮落したとある。斯の如く、婦人が男子よりも先きに降伏した例は、頗る多い。併し、元來女は生理的に男子よりも弱いものである。身長に於ても男子よりは一割位も低く、從つて體量も少い。故に女は男よりも弱く、男子は女よりも強い。故に敵と戰ふ時には、男子よりも比較的弱き女が、先づ早く降伏するのは當然である。

けれども、あらゆる社會の強敵は、男女兩方面に向つて進撃するのであるが、高き木はかへつて風に倒され易いとの俚諺もあるやうに、男は強い丈にそれだけ又強猛く敵に襲撃される事となる。如何なる強風の襲來ありとも、喬木の陰に生ふる小さき草木が却つて安全であるやうに、女も亦男子の袂に隱れて安全と幸福とを保つ事が出來ると云ふやうな都合の良い事もある。

△女の虚榮の後には男子の影あり

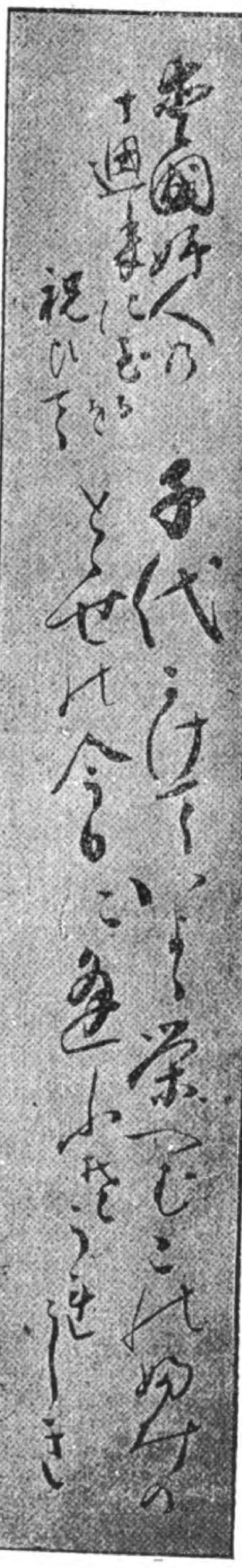
元來虚榮心は女の愛より起る。或は男子に對する女の愛より起るものである。男は女の虚榮心の後に隱るゝ惡者であると予は思ふのである。誰も實際に見た人は無いが、閻魔王の裁判でも、女が男よりも罪深いやうに云はれるのは、之も恐らく男から出た説であらう。之を歴史上に於て見るも、ソロモンの榮華の夢は、獨り女のみが憧憬て居たのではない。何時までも老いず死せぬといふ虚榮の心から不老不死の藥を東海に究めさせた大虚榮家は、男たる秦の始皇であつた。佛蘭西革命當時の佛王ルイ十四世は、其皇后よりも多く虚榮に耽つて居られた。かくて、男子先づ虚榮に奔つて、女子亦之に習つた事實がいくらもある。されば女子が虚榮の原因を爲す事あるも事實であるが、虚榮の罪を獨り女子のみに被せる事は出來ぬ。前述の如く心理的に將又生理的に、男が女より少しく力の強い丈に、男が却つて虚榮の原因ではないかと思はれるのである。

△人は粧飾的動物なり

併し乍ら奢侈は鴆毒なりとの詞もあるやうに、虚榮、贅澤、奢侈は確に其人の爲めにも、亦國家社會の爲めにも大敵である。けれども我々の慾も或程度迄は滿さねばならぬ。滿す丈の必要がある。此慾を絶對に抑壓するのは決して善事ではない。其の爲めに、心が曲る、邪念に走るといふやうな好ましからぬ傾向が起る。多少はおつくりもすべし。美しき衣服も着るべし。美味も喰ふべしである。人間は男女共に多少形造る性質を帶びて居る。人間は粧飾的の動物である。人間以外の他の動物は此の粧飾と云ふことを知らぬのである。故に相當に粧飾するのは、決して惡い事ではないが、唯度を過ぐるを惡むのである。然らば其程度は如何、此の問題の解釋が餘程困難。

△唯圓滿なる常識に依る

それでは、如何程迄が必要の程度であつて、如何程になれば虚榮になるか、其の間を明に區別せよと云へば、夫は誠に困難で、具體的に判然と區別する事は先づ不可能の事と云はねばならぬ。蓋し、我々が物を喰ふのに、空腹の折には何を喰べても美味であるが、如何程美味なものでも喰べ過ぎては不快を感ずる。即ち愉快も度を超えると其の快味を失ひ、反つて苦しみを感ずるものであるが、此の度合の宜しきを得せしむるのは、我々の理性の力である。之を平易に云へば即ち我々の常識である。常識とは惡を惡とし善を善として判斷する力である。常識ある者が惡事をなせば心に苦しみを感じ、善事を爲せば快い。故に此の常識が圓滿に發達してさへ居れば、善惡いづれに處しても其判斷に迷ふ事がない。從つて相當の程度を誤つて虚榮に陷るやうな事もないのである。而して、此の圓滿なる常識を發達せしめ、強き理性の力を養成するものは、即ち教育の力である事を忘れてはならぬ。



愛國婦人會評議員、同東京支部長　阿部龍子氏

◉最貴きは母（上）

山脇高等女學校長　愛國婦人會理事　山脇房子

◉世には往々考へ違ひをして居る婦人がありまして、從順に夫に仕へる妻を卑屈と笑ひ、子女の教養に骨身を砕く母を意氣地がないと譏るやうなひとも見受けますが、かりにも天が男女兩性を造つて、各自に異つた長所をさづけましたのは、決して無意味ではありません。この異つた各自の長所を以て、互に相助けて一家を齊へ、國家に盡すのが女子の本務と存じます。

◉まづ女子の體質の上から見ましても、性格から見ましても、男子と比較して、大變に異つた點がありますのは、誰も承知を致して居る通りでありまして、この相違から見ますると、女子は男子と同じく社會に立つて活動すべきものでないのは見易い道理で御座います。即ち、男子が外に出て働きますのに反して、女子は家庭の内で働かなくてはならぬのであります。申す迄もなく、家庭は家族の起居する所で、夫はこゝに心身を養ひ、子女はこゝに人と爲るのであつて人生の最も樂しく最も親しく、最も温であるべき所で御座います。この家庭を完全に整理し、夫を内助して好侶伴となり、子女を善良に養育すると云ふ事が、女子たるものゝ三大任務で御座います、就中、人の母となり、之を立派に教養して、心身共に優秀たる次代の國民を造ることは、單に一家の幸不幸のみに止らず、一國の盛衰興亡にも關する崇高至大な任務で御座います。

◉かつて米國の前大統領ルーズベルト氏は、或る婦人の集會の席上に於て、『余は、國民的生活の最上地位を占領すべき資格を有するものは、母なりと信ず。母の任務たるや、國家の干城たる軍人よりも、一國の樞機に參與する政治家よりも、寧ろ重要なり。母の一度受胎し、分娩し、之を撫育し、生長せしめ、一個獨立の人間を造り上ぐる迄の苦心、忍耐、克己、勉勵には、恐らく何物も比較し能はざるべし。婦人が如何に高等の教育を受け、社會的事業に手腕を揮ひ、天下に名をなすも、母の天職を認識し、之が宣揚を計るものに比すれば、確に一段劣れる感なくんばあらず。蓋し、一般社會の婦人が、夫れ〳〵分に應じ子女を出產し其子女殘らず身神共に強壯に、健全に教養せらるゝにあらざれば、國家の盛榮は期すべからず……』と述べられましたが、誠に味ある至言だと存じます。（つゞく）

●篤志寄附

愛國婦人會評議員前侯爵夫人佐々木貞子氏は金百圓を、廣島縣福山町兒玉語一氏は金五圓を各本會第十一回總會費中へ寄贈されたり。

●毛利公爵母堂の嘉筵

愛國婦人會評議員、舊長州藩主毛利公爵母堂安子刀自は本年恰も七十七歳の高齡に達せられたれば豫より『松年久』の題にて記念和歌を募集されたりしが既に二千餘首に達したる由、去る七日には高輪八ッ山なる本邸に於て祝宴第一日の嘉宴を張られ、又八日には、第二次の嘉宴を開かれたるが、去る十三日にも亦同邸内に千五百餘名の知人を招待して午後一時より園遊會を催され頗る盛會を極めたり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

●教養生教養の一階段（上）

愛國婦人會教養所長 文學博士 幣原坦

從來の教養生は、年齡が略皆稚くして幼年學校の入學試驗を受ける資格は大概有つて居たのであるが、次第に歲が長じて來るのに從つて、十五歲に達した者も尠くはないに就ては、最早幼年學校にも入學する資格を失ふやうな時期に逢着しました。從つて、現今が恰度教養の一階段とも言ふべき時期であつて、此の幼年學校に入學の資格を失つた兒童を、如何に處置して往くかと云ふ事に就ては、本會本部に於て、多くの研究を重ねられた次第でありまして、殊に本年の四月は、之を處理するの難關になつて來たのであります。即ち本年四月は、推移の時期と云ふべきであつて、教養所開所以來斯の如く重要なる時期は今回が始めてであると申して宜のであります。今や大要其處置をつけまして、夫々入學の手續を了へ、大體此の難關を通過して了ひましたに由つて、諸君に御安心を願ひたい爲めに、簡單に教養方針の大略をお話しするのも敢て無用でないと思ふのであります。

先づ教養規定の設けられた大略を、いつまんで申しますが、教養生は從來多くは小學校に通學させ、又或者は中學に通はせて居りましたが、未だ一定したる方針、規定を定める必要が逼つて居なかつたのであります。然るに、今回其必要が切迫して來たに就て、斯の如き規定が出來ました。即ち、教養の方針は、教養生をして陸海軍の將校たらしむるか、又は他に相當獨立を得せしむる資格を與ふる事にしやう。何分國家の爲めに戰死若くは負傷したる人々の子弟でありますから、父兄の遺志を嗣で、陸海軍の將校たらしめ、邦家の爲めに盡さしめてやりたいが、どうも體格、性質、學力等に於て、其進路を執ることが出來ない生徒がありますから、之等に對しては、他に相當の獨立を爲せて郷里の家族の人々に安心をさせてやりたいと云ふ主旨を第一としまして之に據つて方針を定めてまゐります。

そこで尋常小學校を卒業しますると、幼年學校豫科受驗の準備に便ならしめんが爲めに、一般に中學校に入學試驗を受けさせます。合格した者はそれで宜しいが、合格しなかつたものは、止むを得ませんから、高等小學に入學せしめて、勉學を續けさせます。此中學校入學者にせよ高等小學入學者にせよ、何れも教養所內に於て補習を行つてやる事にして居ります。

さて斯の如く中學校又は高等小學校に勉學中、幼年學校の試驗を受けて及第しまする者は軍人になりますが、及第しない中に、最早年齡十五歲に達して滿期となりましたる者は、止むを得ませんから、適當と認る他の學校に入れてやりまするか又は相當の業務に從事せしむることになりました。

但、其年齡滿期となつた者と雖も、學績優良にして品行方正なる者は、引續き中學校の課程を了へしめまして、中學卒業後、或は陸軍士官學校、或は經理學校、又は海軍兵學校、又は機關學校等に入學する資格を與へてやる事にしました。又、滿一中學卒業後是等の學校にも入學出來なかつた者は、止むを得ませんから、師範學校第二部又は教員養成所等に入らしめることになるのであります。尤も前途頗る有望な俊秀生にして、唯身體が小さい爲に、諸種の學校に入る能はざる者もないではないと思はれますから、若しかゝる者がある場合には、特に詮議の上、高等の教育を了しむる途をも開いてあるのであります。中には又、病氣其他事故の爲に、學問が見込みなしと認めらるゝ者は、相當の業務に從事せしむるか又は其郷里に歸還せしむる途も啓いてあります。大體右樣の方針でありまして、之は愛國婦人會本部に於て決定せられたる處の教養方針であります。（つゞく）

明治四十四年三月開催されたる本會有志婦人を以て組織する手藝研究所の從事の實況

●姑と嫁（上）

愛國婦人會評議員 鳩山春子

▲要は心の持方一つ

時世の推移は驚くべきものがありますが、いくら時代が推移しても、女の守るべき道に廣狹が生じて來ても、この嫁と姑との間柄、感情だけは、昔時も現今も變りません。表面だけは幾分か變ましたらうが、心の奥の僞らぬ聲は、嫁の方から云はせれば、姑は何時までも難かしいもの、嫁の缺點ばかり探したがる者、又姑の心を割つて見れば、嫁は可愛わが息子を奪ひ、自分の是迄有つて居た權力を殺いで了ふ者と云ふ思想は、牢として兩者の胸に蟠つてぬけ無いやうであります。

然しこの嫁と姑との反感は、どうあつても到底拔き去ることが出來ないかと云ふと、それは心の持方一つでどうともなります。そして姑は嫁を我生みの子の如く唯一の力草と賴り、一脈の春風が互の胸と胸とに通へば、一家は融然として和合し、人も羨む良家庭が現出せらるゝのであります。

▲世間を知らぬ姑の誤りたる觀急

心の持ち方一つと申しましたが、之は嫁の方より寧ろ姑の方に最も肝要なことで、嫁と云ふ者と姑とは中が惡いもの、姑は口八ケ間敷く小言を云ふものと云ふ先入觀念を抱いて來るのです。此先入觀念を和らげ、どんな苦しいことかと心配して來たが、飛んだ取越苦勞に過ぎなかつた、と嫁に思はせるには、先づ姑から態度を變へる必要が御座います。

一體從來の姑は、二六時中家の內にばかり居て、ちつとも世間を知りませんから、嫁を貰つての昨日までは自分が掌握して居た一家の家事經濟一切を任かして了ふと、何んだか之れ迄自分の有つて居た權力を取られてしまつたやうに感じ、今一つは今迄お母さん〳〵と何事も相談をしてくれた息子が、今度は嫁にばかり相談をし、自分の存在をも認めてくれぬやうな、そして愛情を嫁にばかり向けて了ふやうな間違つた考を抱くやうになるのです。つまり世間を見ないから起つた現象に過ぎぬのであります。

一家と云ふ狹少な天地の間に居つてこそ、無暗と嫁が怨めしくなつたり、息子が齒痒くなつたり、些細な感情の問題から、ヤキモキ致さねばならぬのですが、之を世間と云ふ廣い立場の上に立つて見れば、嫁も息子も、さては自分も共に之れ一家の人、互に協力して社會に立たねばならぬ重大な責務も帶びて居る。此場合嫁がどうの息子がどうのと言つて居られる譯でない。何事も一致協力してやらねばならぬ、と斯う心を持ち直せば、嫁の一擧一動に口八ケ間敷いことなど云はなくとも濟みます。（續）

●獻納ありのみの一手特約　神田區今川小路一の五俎橋東際末廣商店は此度越後木崎の篤農家森田盛治氏の栽培に係る甘味ありのみを東京市內にての一手販賣の特約をなせり由來同氏は去る四十三年三月十八日及び本年三月十四日の兩度雲上に獻納の榮譽を得たるものにして甘味水氣に富む實果なれば賣行又盛なりと。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

書法眞訣（三）

横地　正邦

▲本邦古代文字の説明（續）

蓋し肇國宏遠にして、樹德深厚の聖君上に在しませし上世に於て、如何ぞ文字なきの理あらむ。且上代の詠歌は、深玄曲妙にして、天地を貫き、鬼神を舞はすの名歌あり。斯の如きの名歌は、智德淺薄なる人々の心胸より出づる者にあらず。然らば上代に於ける人智德義の發達は、今日の人々よりも深厚にして、輕浮にあらざりしこと明なり。君主臣民に智德備はるの時代に、文字なきの理あらざるべし。其の詠歌が今日に傳はり居りしは、文字ありて、之を記載しありしこと明なり。

殊に上代には戀歌多し。此の戀歌を通せしには、文字なくんば何を以てせむ。或は云はん、人を以て通せりと。又云ふ自ら合ふて通せしと。然り、古傳に男女相合ふて互に吟じ合ふことはありしも、戀歌は男女共に人に知らるゝを恥づる者にして、他に秘せしが當然なり。然るを其戀歌が後世に遺りしは、記載せし文字がありしこと尤も明なり。

殊に、日神天の思兼の命に勅して、文字を作らしむとの古傳あるに於てをや、固より疑ふべきの餘地あらざるべし。

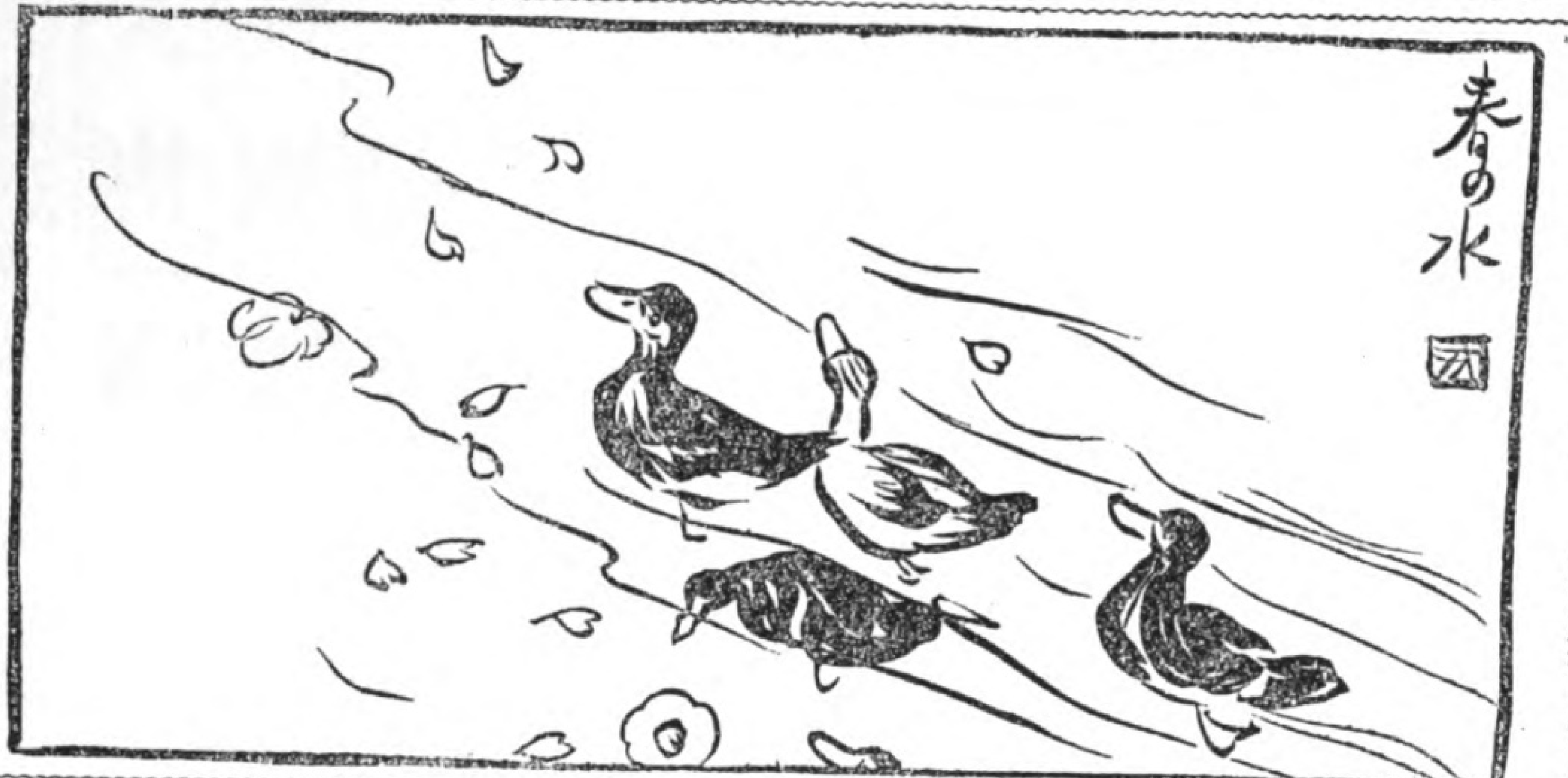
世人が、上古には文字なしと論せし根據は、齋部の廣成が著はせし「古語拾遺」に、上古未だ文字あらずと記せし一條を國學者が徒らに之を妄信して、上古文字なしと唱へしより、世人は更に深考を要せずして、終に本邦の上代には文字なしと愚信せし者なり。彼の廣成が文字なしと云ひしは、當時漢學盛に行はれて、漢字を重づること甚しき時代なれば、漢字の如く音訓を有して、一字數義の意味を含める漢文字の如き文字が無きとの意より云へる者にして、上代固有の文字は唯々四十七言の符標と見なして、文字と見止めざるより、斯く云ひし者なり、若し廣成にして、更に上代に文字無しと信じて云ひし者なれば、廣成の子孫の正通が、上代文字ありとの議論を、世に唱へ出すの筈あらむ。

正通が、上代に文字ありと唱へし所以は、齋部家は代々神事を主る家柄にして、神代よりの古事は、悉く其の家に傳はり居りて、上代の文字も亦齋部家には保存しありて、正通は常に之を熟視し居れるより、上代文字ありとの議論を、世に公言せし者なり。世に齋部文字と稱せし者は、即ち齋部家に傳はり居りし文字を云へるにても、正道の議論は根據ありし確説にして、廣成の文字なしとの事を打ち消すに足れるなり。

卜部氏、吉田氏が上代文字ありしと唱へしも、二氏の家柄は、代々神事を主る家にして、其家には、上代文字の傳はり居りしより云ひし者なり。吉田家より出で、般橋家を繼げる環翠と云へる學者が上代文字ありしと云ひしは、吉田家に上代文字の保存しあるを見て云へる者なり又釋の諦忍釋の潮音が、上代文字ありと唱へしは、孰れの寺院かにて上代文字を見て、此れを主張せし者なり。伊勢の神主の永野の釆女が、上代文字ありとの説も、名神大社に保存しあるを實見して、然る議論を唱へし者なり。潮音釆女同説を主張せむが爲め、僞作を爲せしは、彼れ一世の誤りなりしも、二氏が古學に達し居れることは能く世人の記憶せる所ならん。彼れ等僞作を爲せし誤りありしとて、上代文字ありとの説までを、滅却せしむべき者にあらざるなり。

又新井君美、平田篤胤等が上代文字ありしとの説も、根據なく確信なくして世に唱ふる者にあらず。皆幾多の攻究を重ねて、此が材料を擧げて云へる者なり。

予が、上代に文字ありしと唱へて、古字の形體を擧げて此れを世に紹介するの本は、前條に擧げし數氏の説を妄信して然かる者にあらず。蓋し、此國家は世界無比の國體を有して、善美極まるの國家たりしを自負自賞して、此の國家にして上代通用の文字なきの理あらむと推定し是れより攻究を初めし者なり。偶々友人落合直文と説を同ふし、共に手を分ちて古代文字の集輯に務めしこと數十年、今や初めて信を得るに至れり。由て茲に之を諸君に紹介す。（つゞく）



◉近視の話（上）

駿河臺井上眼科病院長醫學博士　井上達二氏談

▲婦人は近視に罹り易し

近視は主として青年期に起る眼病であるが、現今の醫學界では、近視を絶對に根治する療法と謂ふのが、未だ發見されて居ない。唯日常の攝生法と眼鏡とに依つて、強度に進むことを防止ぐ事が出來るだけであるから、一度此の病に罹ると終生幾多の不便を感ぜねばならぬ許りでなく、又強度の近視は、遺傳することがあるので、此の不便不自由を子孫にまでも傳へることゝなるのである。然るに、婦人の身體は、元來男子と比較して割合に薄弱に出來て居るので、從つて眼の構造も比較的薄弱に出來て居るから、男子より婦人はより多く近視に罹り易い素質を備へて居ると云つても、あへて過言ではないのである。

▲近視と顔面美

近視に罹ると、眼科醫の撰擇したる眼鏡を用ゐる必要がある。然るに、西洋の婦人は左樣でもないが、日本婦人は、女が眼鏡を懸けると、如何にも生意氣らしく見えると云ふので嫌はれる方が多い。ところが、近視の人が眼鏡を用ゐないと獨り大變に不自由を忍ばねばならぬ許りでなく、同時に又、眼が霞むので、物を見る場合には、眼尻や額に皺を寄せて、眼を細くし、俗に云ふシカメ顔をしなければ見えぬ事になる。俚諺にも眼千兩と云つて、眼は殊に婦人の顔面美に深い關係を有するものであるのに、此の眼を細くしたシカメ顔と云ふのは、決して恰好の良いものではない、爲めに頗る顔面美を傷け、所謂寶玉に瑕で、あたら天性の美貌も其光彩を損するやうな不仕合のことにも立至るのである。

婦人として、誰が外貌の艶麗しき上にも艶麗しからむことを希はぬ人があらう、美貌を好む婦人は、是非此の近視に罹らぬやう、充分に注意せらるゝ事が肝要である。

▲頭を傾けて讀書する癖

然らば、近視に罹らぬ注意、即ち近視豫防の攝生法は什麼と云ふことに就ては梗概を後で述べる筈であるが、總體日本の婦人は、坐して仕事を爲れる場合が多い。裁縫は勿論、讀書を爲るにしても、手紙を認めるにしても、大概は机の前に端座つて讀んだり書いたり爲れるが、端座つて居るので、自然机と眼との距離が近接する事になる。又讀書を爲る時に、頭を少しく左右に傾ける癖のある婦人も往々見受るが、頭を傾けると、眼と對射物との間の視線が直角にならぬことになつて、之が頗る眼の爲めに有害である。そこで、讀書を爲るには、成るべくテーブルを用ゐ、椅子に懸けて爲るやうにしたらば、幾何か此の弊害を豫防することが出來るのである。併し、椅子に懸けると腰部が冷るといふので、テーブルを用ゐるのを嫌ふ婦人が多いやうであるが、腰部が冷るといふのは、婦人の衛生上脈ふべきことであるから、冷えぬやう腰部から下部を毛布なり何なり、暖かさうな物で卷くやうにしたらば宜しいであらう。（つゞく）

●救濟慈善事業と人種改良問題
●勅語奉釋　●アルプス山の絶景
●修學の女子に誨ふ
以上記事輻輳に付き本號に限り休掲

■本所の購賣品の取次■
■地方讀者の最大便利■
■詳細は前號並に次號にて御覽ありたし

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

祝愛國婦人十週年

新婦人叢書

新刊

第四編

兒玉花外氏著

日本艶女傳

女の妖なる、まさに多情男兒の心頭を恍惚たらしむべし
女の艶なる、まさに多恨英雄の情緒を撥亂せしむべし

女の妖なる者と、女の艶なる者とは、花外氏の妖艶なる筆によりて、最も詩的に、宛から散文詩なるが如くに描き出されたるは本書なり、夜闌け人靜なる時、獨本書を繙けば其妖と其艶とは、直に讀者に來りて喃々又嫋々、蜜の如き情話を囁いて盡きざるを覺ゆ。

袖珍型クロース表紙
定價金四拾錢
郵稅金四錢

既刊

第壹篇　日本美人傳　長谷川時雨女史著　袖珍型クロース表紙　定價金四十錢　郵稅金四錢

第二篇　現代男性觀　小島文子女史著　袖珍型クロース表紙　定價金四十錢　郵稅金四錢

第三篇　名媛日記　大平野虹氏著　袖珍型クロース表紙　定價金四十錢　郵稅金四錢

近刊

五編　現代女性觀　黑公子著
六編　日本美男傳　田村とし子女史著
七編　文章の栞　岡田八千代女史著
八編　日本烈女傳　尾島きく子女史著
九編　閨秀作家文粹　佐藤紫仙氏著
十編　育兒の話　醫學士唐澤光德氏著

發行所　東京市本郷區龍岡町　振替東京三〇五八番　電話下谷四〇七九番　電話下谷一六二七番　聚精堂

實用新案登錄
第二三一一七號
男女兼用
ナイトドレッス
(一名寢冷知ラス)

婦人洋服附屬品服地類及裁縫一式

價 ＼ 種類	キャラコ	イタリヤ	メリヤス	セル	本ネル
十四歲迄一號	一・一〇円	一・二〇円	二・〇〇円	一・七五円	三・〇円
十二歲迄二號	〇・九〇	一・〇五	一・七〇	一・五〇	二・八五
八歲迄三號	〇・八〇	〇・九五	一・四五	一・三〇	二・三五
六歲迄四號	〇・七〇	〇・八五	一・二五	一・一五	二・一五
四歲迄五號	〇・六五	〇・七五	一・〇五	一・〇〇	一・九〇

送料割引券
臺灣樺太朝鮮半額
內地無料

製造元
東京市本郷區眞砂町大通
大河内婦人洋服店
電話下谷五二八
振替東京八三七二

(關西代理店古名屋いとう呉服店　福岡渡邊洋服店其他呉服店洋品店ニアリ)

凱旋サイダー

實修女學講義錄發行

大日本實修女學會

新學期開講　創立紀念として各種の大特典を與ふ。

◉會長　從三位　下田歌子女史　◉講師專門大家數十氏

父母の膝下で家事の傍、僅少の學費を以て高等女學校程度の學藝を修得しようとする諸孃は速に本會に入會なさい。本會講義錄は高等女學校令に準據せるは勿論なるも勉めて實用に重きを置き殊に婦人に大切な裁縫、料理、造花、編物等を最も詳しく最も丁寧に講述します。講義又平易で振假名つきですから何人にも難解の憂はありませぬ。

見本規則書申込次第無料進呈◉東京神田駿河臺　電話本局三〇〇二　三〇〇四　大日本實修女學會

婦人世界春期增刊

賢母の鑑

四月十日發行

一冊十五錢　郵稅一錢五厘　振替三二六番

▽我が母の感化……三輪田元道　棚橋一郎

◎我が子の切腹を勵ました賢母……下田歌子
◎子供の性質と母親の手加減……川瀨夫人
◎娘より嫁に味方する我が母……嘉悅孝子
◎幼稚園の利害……高島平三郎

□四學士を出した母の苦心
□三博士を產んだ賢母
□長野縣出身の婦人評

家庭小說　子寶……村井弦齋
→健全なる家庭小說は子寶なり
→本號に至つて益々佳境に入る

◎育兒上の注意……加藤博士
◎貧苦の間にニコニコして居た母の顏……國分操子
◎七人の繼子を育てた母の苦心……栗本花子
◎子供の盜み食ひは泥棒の初め……原胤照

□私の考案した改良服
□育兒上の迷信いろいろ
□子供の惡いのは母親の罪

▽東西賢母の鑑……渡邊白水

東京神田南乗物町　實業之日本社

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

十一二歳用 マントの造り方

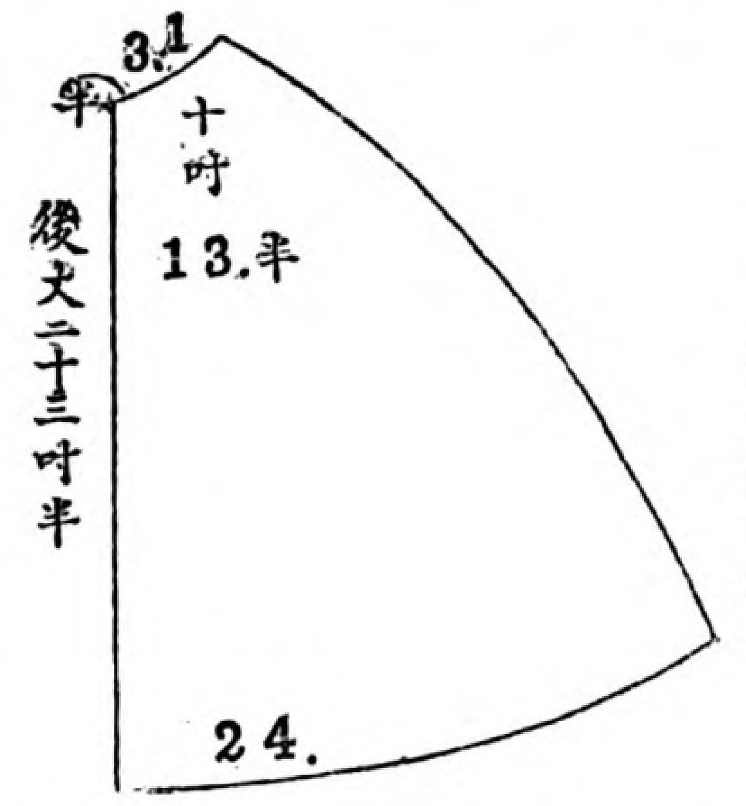
和洋裁縫高等女學校長　堀越千代子

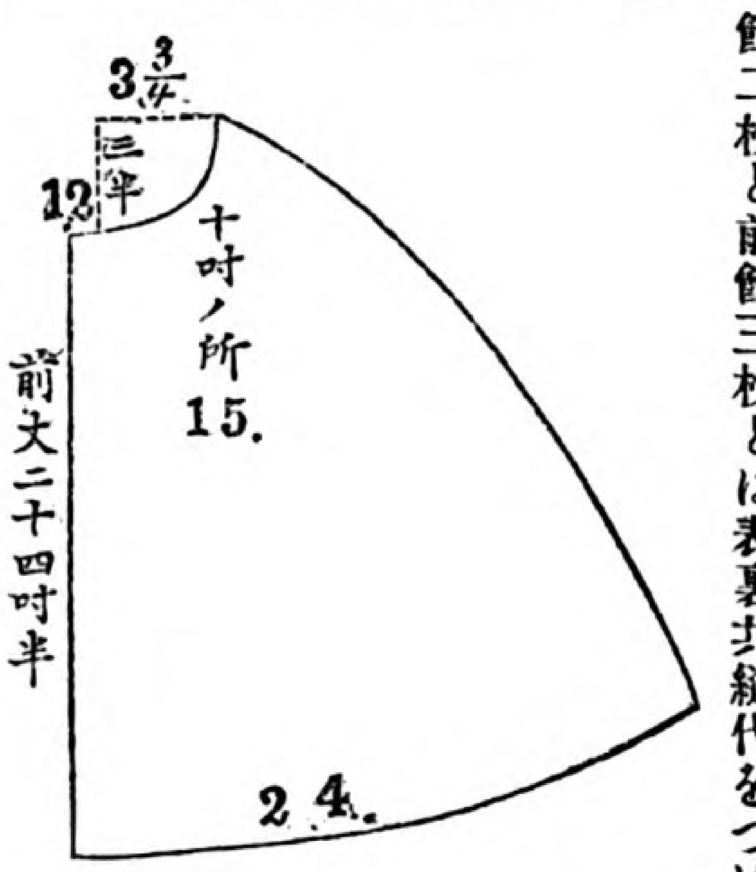
當今大變に流行致して居るケップ、十一二歳位の男女子に着用らるゝマントの造り方を左に述べることに致します。

▲裁方●

後、前、衿など次の、分解圖に示したる如き寸法に縫物をつけ、表布を裁ち切り、次に後裏布は表と同樣の寸法に裁ち、前はミカヘシ布を表と同樣の布にて裁ち、其の他の部分は裏布を裁ち、次に前飾二枚と前飾三枚とは表裏共縫代をつけて裁ち切るべし。

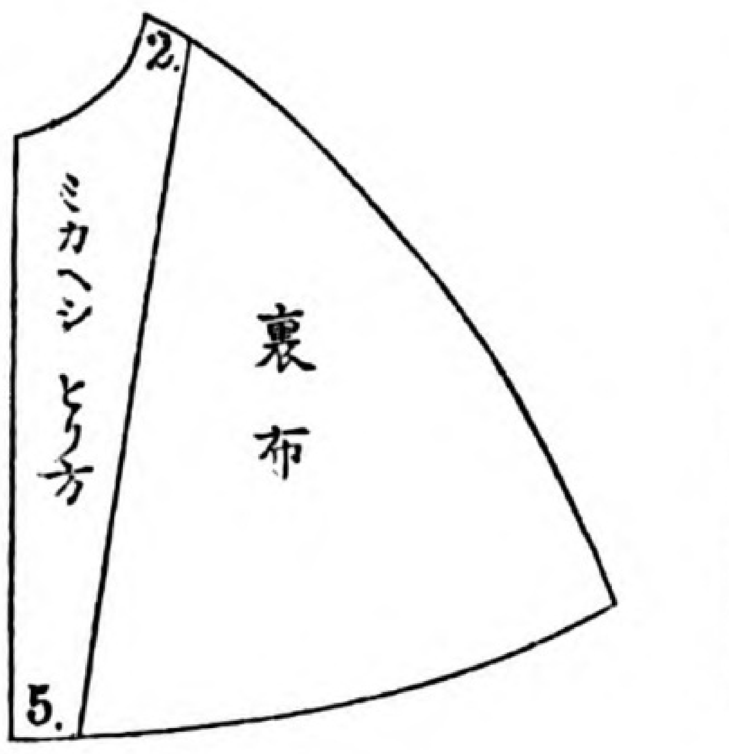
但し衿を別布、即ち絹テン、フラン天等を用ゐる場合は、表衿を別布となし、表裏共に斜に裁ち切るべし。

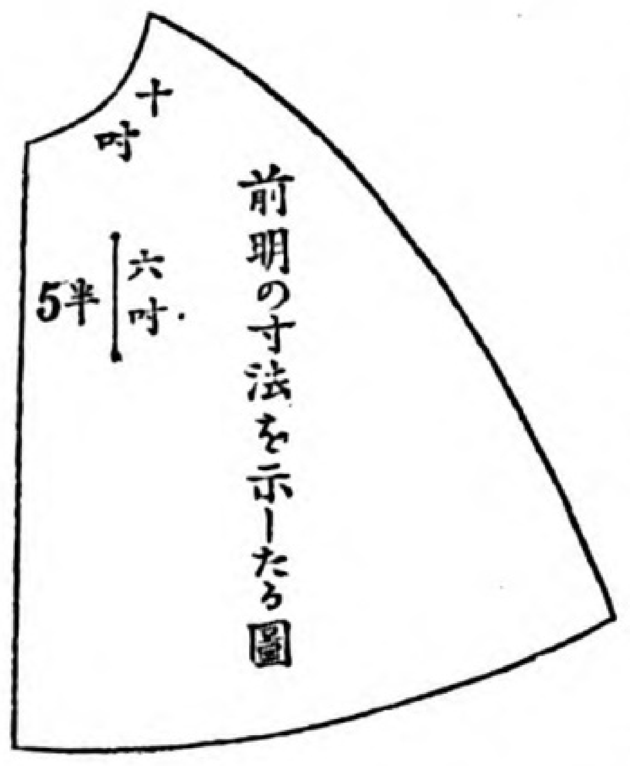




▲縫方●

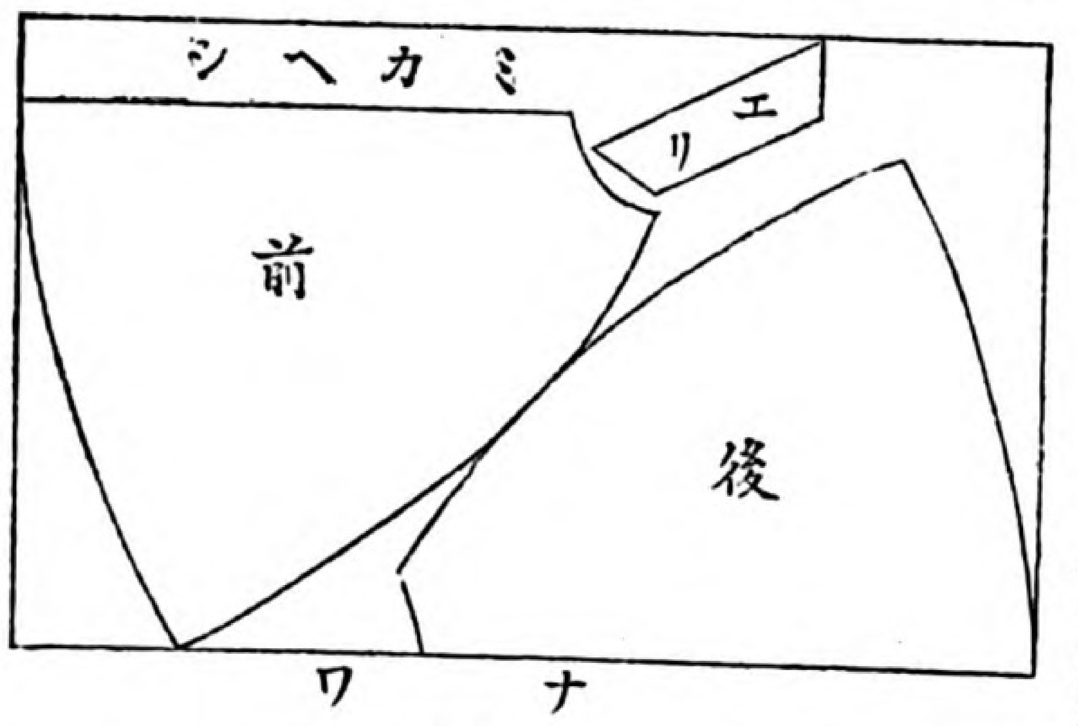
前ミカヘシ布の上に裏布を合せ、躾にておさへ、飾ミシンをかけ、次に之を表布に合せ、一吋二分の待ち出しの所に切り込みを入れ、その所より前ミカヘシのある所まで躾にておさへ、ミシンにて縫ひ、引き返して躾をかけ、次に圖の如く肩山より十吋下り、前より五吋半入りたる所に、六吋切り込みを入れ置き、次に別に飾布の眞直なる方をのこして、廻りを縫ひ、引き返して飾ミシンをかけ置き、又六吋の切り込みの入りたる所に、表と同じ布を丈七吋幅一吋半に裁ち切り之をその口の表の所に合せ、ミシンにて縫ひ、縫目をわり、之を裏の方に折返し、躾をかけ、切り口の前の方は口切の上に裏を合せてまくりつけ、次に他の一方には、前に出來上りたる飾切を合せてとぢつけおき、その上に裏をのせてまくりつめ置き、亞で前と後との表の脇を合せ躾にておさへ、ミシンにて縫ひ、縫ひ目をわり、前より裾の廻りに飾ミシンをかけ、(但し前ミカヘシの所は表裏共になし裾の方は表だけを一ッ折となし飾ミシンをかく、)次に裏裾の廻りを表布より半吋ほど小さくなしてまくりつく。



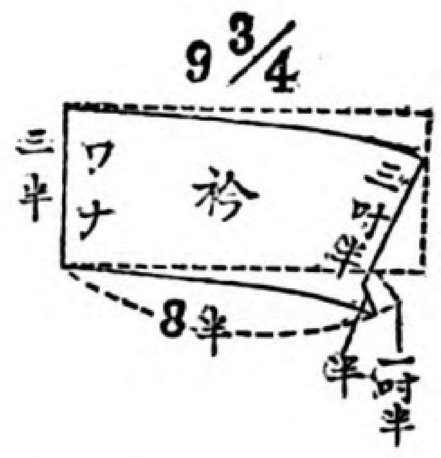


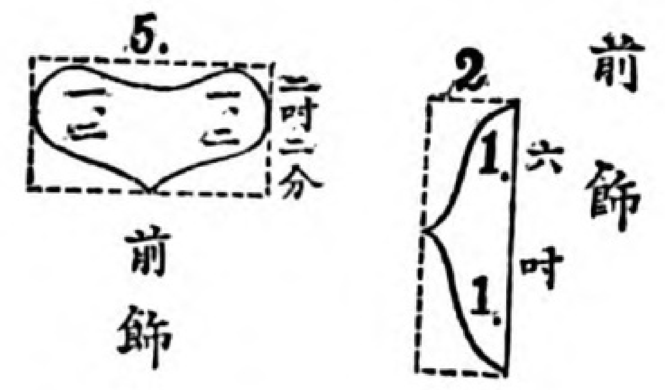
▲衿●

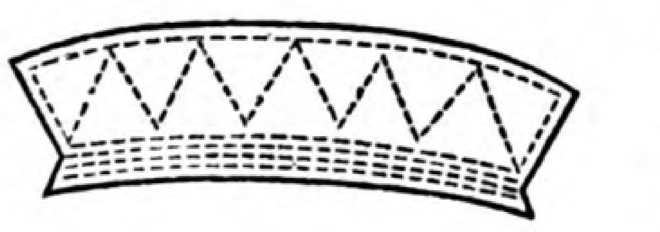
裏衿にシン布を入れ、圖の如く飾ミシンをかけ、之に表衿を合せ、山の方を縫ひ、引き返して躾をかけ、その裏衿の方を身頃の表衿肩に合せて縫ひ、縫目をわり、その縫目の上に表衿の一方を一ッ折になしてまくりつけ、次に衿の上前の方にホックのカギの方をつけ、下前の方に輪の方をつけ置き、次に前の飾三つを圖の如く裁ち切りたるシンにならひて表布を裏の方に折り返し、躾をかけ、飾ミシンをつけ、しかる後裏をその上に合せてまくりつけ、その兩端に穴を明け、穴かじりをなし、前には之に合ふ樣にボタンをつけ仕上げをなす。



積り方用布（羅紗幅壹ヤール八分）







裏衿ニミシン切ヲノセミシンヲ掛ケタル圖

出來上リ圖

家政 育兒 の實驗（應募）

●小兒の耳と爪　牛込　一女教師

不性な母親と注意ぶかい母親とは、小供の耳と爪を見れば直に分ります。

●米質の見別法　府下　白米商の妻

米質の見別法のあらましを申しますと、一般に性質の良い米は粒が揃つてゐて、細長く、肉が締まつて、色が透明で御座いますが、性質の惡い米になりますと第一粒が不揃ひ、形が惡く、不透明で、糖が澤山被つて居ます。又良い米と惡い米は、冷飯を湯漬けに致して見ると直に分ります。湯漬にした時に、茶碗の中が白く濁つて、飯粒が糀のやうになりますのは惡い米です。良い米は、今日炊いたのを翌日湯漬けに致しても少しも濁らず、サラ〳〵と致して形が壞れません。極性質の惡いお米になりますと、冷えてから湯漬に致すと糊のやうにドロ〳〵になつて了ひます。

●浪子さんは可愛想　日本橋　林田靜枝子

淺草で活動寫眞を見まして歸りました翌朝。花子とお祖母との間に次のやうな問答がありました。

『ね、お祖母さんほんとに浪子さんが可愛想なんですよ、そらね、お祖母さん、武夫さんと浪子さんよ、武夫さんて男よ、浪子さんは奥さんなの。』

『さう　浪子さんがどうか爲たのかい。』

『ほんとうですよ、お祖母さん、浪子さんは隨分可愛想なんですよ、とうしたつてばね、病氣で死んだんですよ。』

花子さんは鼻聲を出してゐます。

私はなにとなしに活動寫眞を見に參るのが厭になりまして、其後再び花子を伴れて活動寫眞は見まいと決心致しました。

時代に適合せる本講義をばよめ
日本女子大學校編　新學期開講
女子大學　家政講義
會員募集會則無代進呈
東京市小石川　精美堂　電話番町九三貳　振替二八三八番

料理いろ〳〵

▲つませりさよりのとくさ燒　さよりを腹開きにして骨をぬき、十分間鹽につけ、頭つまを折りて串にさし、三分間にして裏表を燒き、皮目に白身をぬりつけ、青のりを粉にして薄くふりかけ、一寸乾かして用ふ。

▲木の芽合　先づ前日に竹の子を三十分間うでゝ水に漬け置き、明日になり五分位に切りて一寸うでる大の竹の子なれば一本に煮出し一合、砂糖十五匁、醬油六勺八分間煮てしばらく鉢に揚げ置く、外にうど一寸位に切り、皮をむき水に漬けあくを去りて水氣をしぼり、砂糖十匁、醬油五勺、煮出し三勺、落蓋にて五分間煮て鍋を下ろし、十分間むらし、外に西京味噌百匁を細密にすり、うらごしにかけ鍋に入れ、煮出し五勺、砂糖十二匁、粉山椒半勺ほど入れ、弱き火にかけ八分間煮詰め、以前のうど竹の子の汁をしぼり、木の芽味噌に合ひて器にもりて出す。

▲はうぼうの蕎麥むし　はうぼうを三枚におろし、腹皮をとり、二つに切り、鹽をふりかけ、五分程置き、夫を器に入れ、生蕎麥の打たるものを魚の上にかけ、凡そ十五分間蒸て出す。其汁の仕出方は、煮出し三合、其内へ砂糖を盃に半分、醬油一杯半を入れ煮出て、以前の魚にかけ、苔海をかけて出すなり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

笑話　奥樣とお鍋（一）

芳嶺

年の頃は二十二三、其名はお鍋、色も形も林檎の樣で、鼻も脊も低い下女にはお誂向きの體格。たゞ其の特徴としては、いつも莞爾〳〵と莞爾ついて、世の中に苦勞といふものを、知らぬげの顏つき、天下太平の世なりけり。時しも四月の空麗かに晴れ渡りて、吹く風も長閑に、お庭の櫻花咲きも揃はず散りも初めず、さすがに廣き邸内も森閑として、此處暫しはお鍋君の世界なり。

下女部屋の南椽の椽板をほてる許りの暖かさに、お鍋君大臼の如きお尻を橫に轉がしながら、奥樣の御足よりも大きな手を枕に、今しも假寢の幕。此の時なり、

「お鍋や！　お鍋や、

凛として邸内に響き渡る鶴の一聲、此の家の奥樣頓子の方のお鍋を召し給ふにぞありける。牡丹餅を頬張る夢をや見てありけん、はた又燒芋を嚙る最中にやありけん、お鍋君の厚き唇は廣く開けて、鼾聲四邊に敷き、口許より涎の一筋、さながら水飴を垂らしたらんが如く、心なき幼子の見もせば指に卷きつけて舐りやすらん。

「お鍋や！　お鍋や！　お鍋！　鍋！」

頻りに呼び給ふお鍋の連發の鋭さ、今の今まで鳴き渡りし鶯の聲も、いつしか聞えずなりぬ。疳癖の奥樣嘸や焦れ給ひつらんと、氣も心も弱き者は、身も心も失せなんばかりに慌て惑ふらんを、お鍋君悠々迫らずして山の如き巨體ピクとも動かず、但し何時しか鼾の聲は止みて、鈍栗の樣なる眼は瀾々たり、されど涎はなほ依然たりしなり。

「お鍋は居ないのかい？　お鍋は如何したの？」

此時お鍋君腹這ひながら、見事なる兩手を伸して大欠伸、さも慨歎に堪へざる面色にて獨り言、

「何だね、朝から晩までお鍋〳〵と人を呼びづめにして些少も休ませないよ、妾が人間だから濟む樣なものゝ、これが古着か何かなら、モウ疾にすり切れた時分だよ。今日は滅多に返事をしない事にせう。」

庭前の櫻花風なきに散りなんとす。奥樣の帛を裂くが如き御聲は更に響き渡りぬ。

「お鍋や！　お鍋や！」

お鍋君莞爾〳〵して曰く、

「アレ亦呼んで居るだ、エラク呼びくさるよ。」

奥樣勘忍袋の緒をきらし給ひ、刻み足に親臨あらせ給へば、悠々たりやお鍋君、いつかな御腰を上げんともせず。

「アラマアお鍋！　お前此處に居たの？　先刻から人が幾度も〳〵呼んでるのに聞えない事はないだらう、この橫着者。」

「へー、お呼びなさいましたかね。」

「呼んだから來たじやないかね。」

「來たから此處に居りますだ。」

「マア呆れるね。主人の前で寢そべつて居る者が有りますか、失禮じやないか起きなさい。」

「へイ、サア坐りましだゝ。何の御用か承りますだ。」

「此の煙草盆に火を入れて持ておいで。」

「へイ〳〵畏まりましたゝ。然し奥樣伺ひ奉りますだが、それに火を入れると、エラ騷動がおッ始まりませう。」

「どういふ譯でね。」　（つゞく）

凱旋サイダー

奥樣の丸髷や令孃の嶋田に

香水原料（原名）オリヂナルを

毎朝一滴宛お用ひなさい

床しい匂ひが致します

其他オリヂナルは帽子、手巾、リボン花簪等に一滴宛使用する事が流行して居ります。（一瓶正價金壹圓廿錢）

◉近來僞物現はる安藤發賣元に御注意を乞ふ

市内	三越、白木、松屋
特設	いとう松坂、各呉服店
販賣店	白牡丹一家、有名雜貨店

全國第一流雜貨店小間物化粧品店にあり

發賣元　東京日本橋區水天宮前　安藤井筒堂

本縮緬兵古帶

△破天荒のメチヤ〳〵廉賣▽

絞り染	大巾一丈物　最新流行柄	天　壹筋	金四圓三十錢
絞り染	大巾八尺五寸　最新流行柄	地　壹筋	金三圓四十錢
絞り染	大巾七尺五寸　最新流行柄	人　壹筋	金二圓九十錢

送料　內地十二錢　海外三十錢　代金引替小包は各十錢增

特約發賣元　東京神田區旅籠町一ノ廿三　文光堂用達部（振替東京一九五五番）

世界の國々見渡す限り

スワン石鹸の至らざる所なし

阿父さんはお湯に入るのにも

髭を剃るのにも

スワンを使つていらつしやる

阿母さんも姉さんも

スワン石鹸で洗つた後は

お化粧が自由に出來て

顏も手足も荒れないで

全くよいてほめていらつしやるの！

◎僞物ありスワン（白鳥）に御注意

輸入一手發賣元　千代田香油本舖　本店東京馬喰町　支店大阪靱町

山岸三之助　電話浪花二七九三　振替東京二〇五〇

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

●應募和歌「祝愛國婦人十周年」

文學博士 佐々木信綱先生選

天

國を思ふ心の花の咲きいでゝにほふ十年にあふか嬉しさ　青森縣北津輕郡金木村 大橋八佐子

地

東のまにとゝせの祝來りけりむかへみまほし百年の春　岡山 墨江幸子

人

十年經てます〳〵かをるこの花のいろ香は國の錦なりけり　靜岡縣周知郡飯田村 相羽操子

秀逸

國をおもふをみな心の誠にそ今日の榮の花は咲きけり　横濱 加藤李花子

姫小松みさをの色のたかけれは實をさへ結ふ今日のめてたき　麻布 浪子

婦女子のあつきなさけをちからともたのみて進めますらをの友　山口 末田三枝子

國をおもふ心の友とたのみつゝ見るに見あかぬふみは此ふみ　同 末田竹子

その守の心つくしはあらはれてさきそろひたる花そのゝうち　丹後 吉村千代子

十かへりの春をかさねしこのふみの千代の榮えを猶いのる哉　三河 山内經子

國めつる文の林のねさしかたく十年の春にあふそうれしき　千葉 小出つる子

國のためつくす言葉の花そのはいく春かけて咲きにほふらん　赤坂 清水まつ子

十かへりの春をむかへし姫小松ちよもかはらぬ色そ見えける　丹後 松浦珠美子

國のためよの爲め盡すこの文の十年の春を祝ふけふかな　麹町 吉田安子

ひめもゝの花うるはしく年ことに榮えゆくこそうれしかりけれ　岐阜 野村なか子

國の爲め人のためにとつくされし十年のいさを文の上に見ゆ　靜岡 相羽とし子

十とせ經し今日は祝ひの初花やなは幾春もにほへこの文　神戸 森波雅子

佳作

とり〳〵の花さきいでゝこゝに十年いよようるはし國めつる花　千葉 小川世起子

霜にたへ嵐にたへて幾千代も華やく松のたのもしきかな　丹後 西本小竹子

なよ竹の根さしかためて動きなく千代に八千代に榮えゆくらん　茨城 大曾根みつ子

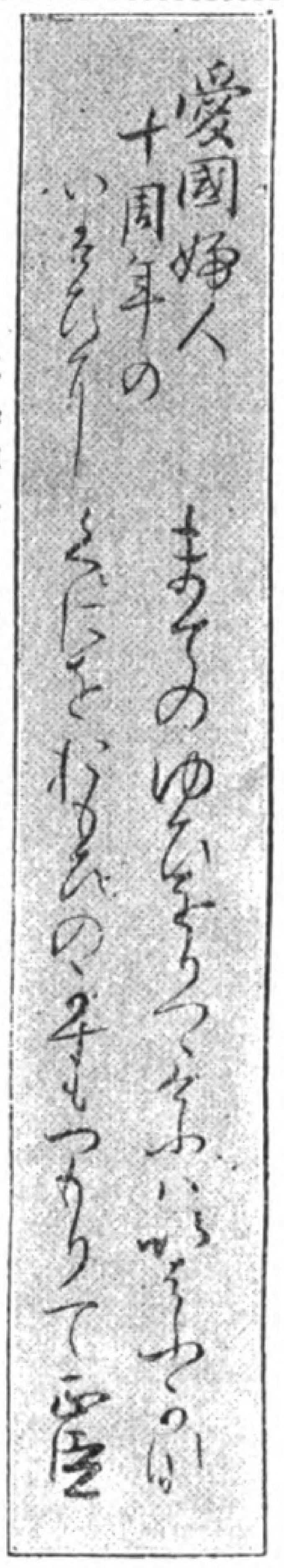
なつかしく早や束廣の我が友の十春の齡ひ今日祝ふ哉　愛知 宮田いそ子

のどかなる世にところゑて歳とともにいろまさりゆく山櫻花　岩手 渡邊豐嘉子

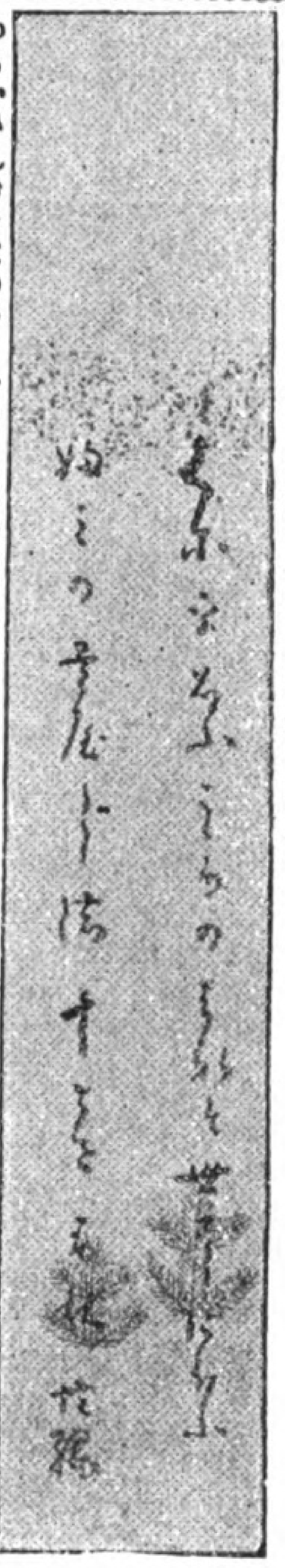
もろともにいさ祝はなむこのわさのもとゐをたてし今日のよき日を　神奈川 足立原とく子

十年あまりおほしたてたる山櫻いろうるはしく千代も咲かなん　山口 藤井可め子

宮內省御歌所主事 阪正臣氏



文學博士 佐々木信綱氏



つちかひしおきなのいさをあらはれてかほりゆたかにさける白梅　栃木 關根孝子

まごゝろを盡してしより十とせ經ぬ文のはやしは花そにほへる　石巻 吉田とき子

百千たひ十年の春をくりかへしなほうるはしき花のさかなん　牛込 長鹽錠子

事しげく過ぎし十年の根さしにていやしげりゆく文の花叢　大阪 北村琴枝子

外國も都もひなももろともに十とせを祝ふ文を見るかな　舞鶴 阿久春子

文まとゐ十年にみてり尚もまた千年をまても祝ひぬるかな　岡山 林秀子

あけまきもまた結ひなれぬとしなれと錦の衣美しきかな　加賀 梅原てる子

十かへりの松にほまれのいろみえて根さしかためし君をしそ思ふ　岡山 西村長子

あなたのし咲きしこのかた年々に花の榮え行くもしほ草かな　同 森島古野子

千代八千代さかえゆかましま心のこみとりかへぬ十かへりの花　長崎 芳子

共にあらば舞の扇も手にとらんみやこを思ふ今日の祝ひ日　大阪 鈴木香子

とし〳〵に光りの添ひて十めくりの榮えを祝ふふみそめてたき　越後 箕輪貞子

若木にてありし櫻も十とせへていよ〳〵花に色香そへけり　横濱 鈴木まつ子

月に日に榮ゆるまとゐけふ十とせ祝ひて猶も千代やへぬらん　丹後 寺田とも子

もろともにつくすまことは日の本のみいつと共に萬代やへん　府下 衣笠きく子

國の心つくしを今日は見む十年の春の花のあけほの　同 竹内清子

十とせ經しけふも昔に變らぬは文見る度のわか心かな　豐橋 平松いと子

十年をは千代のはしめとこのふみのさか行く末をいはふ今日かな　京都 難波眞久子

眞心の花の薫りのいや高くひらけゆく代とともにさかえん　備後 荒木科子

年々に光りもそひてこの文の榮えを祝ふ今日そ目出度き　横濱 後閑らく子

はぐゝみし人の喜ひおもはるゝ年を重ねしけふの祝ひに　淺草 小林千代子

日の本の女の花もさきいてゝ十年匂へるふみそめてたき　山口 末田貞節子

國をおもふこゝろはいよゝまさるなりしなりのふみの十とせむかへて　兵庫 谷こさと子

日に月に榮え〳〵て十年經ぬ國のうしろに楯つくる文　廣島 重岡冬子

夢のまの十とせをいかにそたちけん分けまとふこの文の林に　日向 岩手房子

かくしつゝ千代もさかえんこの文の十年はなかき月日なりけり　山口 波田貞子

七つあまり三つのこの子とおなし年をさかれたるふみたのもしのふみ　福島 爲田よしの子

益良雄になにかゆつらん手弱女かみくにゝ盡す其赤心は　神田 伊藤みの子

國を愛るをみなかふみの十年經て千代をことほく今日そうれしき　靜岡 相羽貞子

大君の惠のつゆにうるほひてちよも榮ゆくやまとなてしこ　岐阜 日下部酉子

十年へし花の園生は大み代の榮えと共に榮えゆくらん　朝鮮大邱 高芝とらを子

なよ竹の根さしかためて動なく千代に八千代に榮えゆくらむ　茨城 大曾根みつ子

國めつる君かみさをは十返の花さく後も常盤なるらむ　千葉 石原たみ子

とゝせへしこの新ふみを祝ふこそみくにわすれぬひとつなるらめ　兵庫 三畑たか子

夢の間に十年の春を迎へけりつきせぬ御代と共に榮えん　愛知 岡部ひろ子

國のためつくす月日をかされつゝ十年を祝ふ春そうれしき　秋田 天野りの子

いやましに榮え行らん植てよりとゝせとなれる文の林は　芝 清野てつ子

世にいてゝ十年むかへし此ふみは幾よろつ代もさかえ行らん　豐橋 市川みどり子

鳴雪先生選

天

陽炎や干潟の砂に貝の夢　愛知縣碧海郡旭村 岡部廣子

地

ふと映る我影をかし春の水　千葉縣千葉郡白井村 石原たみ子

人

白魚のきよきは乙女心かな　茨城縣筑波郡小田村 大曾根みつ子

佳調

陽炎や水撒くあとの地の乾き　神田 宮崎うら子

白魚に嬉しく添へし一句哉　尾張 安藤鞆子

鶴龜の齡を思ふ春日哉　千葉 景山みよ子

いつまでも白魚白き匂哉　同 同人

松の木に富める小村や春の水　同 同人

根芹つむ乙女は遥く日は西に　備後 美可水

曲水に連歌の法師めされけり　愛知 岡部廣子

風もなくかげろふもゆる春野哉　豐橋市 市川みどり子

花籠を親子荷て彼岸かな　備後 ふぢ道子

繪の如き花の影あり春の水　京都 安義せい子

耕した土のくぼみや春の水　兵庫 三畑たか子

白魚や蒔繪の椀の塗のよき　尾張 後藤しん子

畑にまく水汲む溝の根芹かな　横濱 鈴木[illegible]代子

春水や馬放ちある村はづれ　岡山 森島古野子

美しき舟浮べたり春の水　長崎 芳子

かげろふや夕日は西にありながら　大阪 鈴木香子

松の葉の色染めてけり春の雨　仙臺 武者はる子

春の水南の村へ流れけり　同 同人

歸り荷のおふこの先の根芹哉　三重 梅村喜久子

おしろいの手をすゝぐなり春の水　播摩 長田あき子

陽炎に輕うなりゆく杖かな　長崎 芳子

春の水我が端溪にそゝぎけり　丹後 西本小竹子

南無〳〵と拜む彼岸の入日かな　越中 森ときわ子

寺の池祭りに摘まぬ根芹かな　千葉 ゑくぼ

浮島の遥かに揺れて春の水　同 同人

手をうてば龜が首出す春の水　京橋 水谷みつ子

小牛鳴く藁屋の軒や桃の花　兵庫 三畑たか子

春の水小高き丘を遶りけり　札幌 しげる

蟹穴に陽炎もゆる干潟かな　千葉 綿貫けい子

船人の竿の重げや春の水　同 同人

芹伸びて春なつかしき小川哉　同 同人

陽炎や蓬摘む子の忘れ履　愛知 宮田いそ子

來て見れば猫の留守居の彼岸かな　同 青木やす子

春水や女の名ある破れ笠　三重 前田ちづ子

うなゐらの親もみそめて春の水　近江 池田美登子

芹生ふる濠も濁りて雨暖し　愛知 小島和枝子

▲愛國文苑▼

⊙和歌　坂正臣先生選
雨中新樹（六月十日締切）早苗（六月廿五日締切）

⊙和歌　佐々木信綱先生選
首夏（五月十日〆切）里卯花（五月廿五日〆切）

⊙俳句　內藤鳴雪先生選
歸雁、若鮎、櫻、山吹、嫁菜（以上の內、四月廿日〆切）
雲の峰、更衣、卯月、葉櫻、新茶、閑古鳥（以上の內五月十日〆切）

新荷着　市內一圓無料配達
越後木崎 甘味ありのみ
神田區今川路路俎橋際三軒目
梨卸商 末廣商店

◉應募家庭笑話

◎ウン！　鳥取 坂田きん子

田舍から來たばかりの下婢で御座いますが、何か返事を致します折に、『ウン』と返事を申ますので、ウンではいけない。今後は、『ハイ』と云はねばいけません、『ハイ』左樣々々、さう云はなければいけません、お解りかい、と申します口の下から、又も『ウン』ー

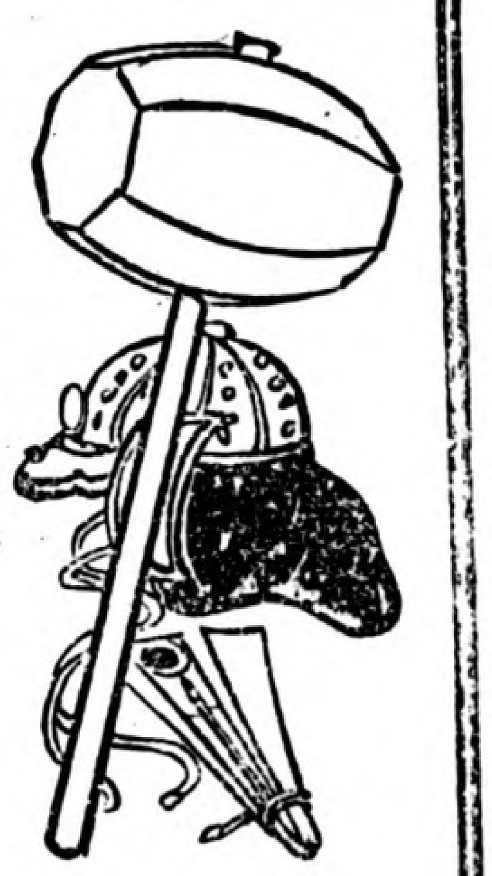
◎飛んだ自慢　佐賀 島根文子

尋常一年になる秀雄が學校から通信簿を持つて歸りました。そして自慢さうに、『姉さん、これ御覽、赤い字の書いてあるのを貰つたのは僕一人だよ、偉いだらう』と申ますからよく見ますと「學校では行儀が惡くていけません、家庭では如何ですか」と書てありました。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

水沼久太夫と大高源吾（四）

細川風谷講演



人間は只他人に金を貸すものぢやないといふて別に五兩の利息を貰つて來さつしやい 源「夫は甚だしい 源「何が甚だしい、何處までも腰拔侍にならんければならぬではないか 源「道理ぢやがな、何うか十三兩二分だけにして利息はまけて吳れんか 勘「馬鹿な事を言ふてはいかん、夫は取れんと云ふのか、夫を取らんで置て仇討を遣損なつたら何うする、播州赤穗の浪人大高源吾忠雄は…… 源「分つた〳〵、拙者が惡いから出掛ける 勘「無論の事だ、オイ、財囊を寄越さつしやい 源「怪しからん……拙者の財囊を 勘「イヤ尊公未だ胸に落て居らん、私の姿が見へなくなれば、中村が彼樣な事を言ふたが豈其に左樣な事は出來ん、一時立替へて置く杯と、尊公懷中より出す事になれば夫こそ大事甚だ疑はしいものだ、金子は一文も持して遣る譯にいかん」源吾はとう〳〵財囊までも取られ悄然と致して再び立歸つて參つた水沼の玄關先、家來の者は此態を見まして △「お忘れ物がございますか 源「一寸忘れ物を仕りました、甚だ失禮ではございまするが姉上に此處へお出を願ひたうござる」家來は奧へ入つて此事を申し入れますと直樣奧方が出て參られて 奧「何かお忘者でございますか 源「左樣でございます 奧「あの彼方の部屋で 源「イヱ左樣ではございません、久々にて兄上姉上の御姿麗はしきを拜し、殊には御門の有樣、御玄關の樣子、御座敷の工合、お庭の風情、誠に結構でございます 奧「貴方樣は其樣なお忘れ物でございますか 源「でもございませんが 奧「何う云ふお忘れ物でございます」モヂ〳〵致して居つた大高源吾漸くの事で 源「何とも申し譯のない事ではございますれど、想ひ起しまする神田の紺屋町、九尺二間の裏長屋に御出の其節、手前十三兩二分の金子を御用達仕りました、豈其お忘れはございますまい」奧方は眞赤になつて下を向かれました、勢州津で八百石の食祿取つて飛鳥落す水沼久太夫の妻、家來は傍で聽て居ります「ナンだ俺達の主人夫婦は大きな面をして居られても神田紺屋町九尺二間の裏長屋に住つた事があられるのか、其時に此人が十三兩二分の金子を惠んだのかな、人は外形に依らんものだ」と思はれるのも辛い、然りとて知らぬとはいへぬ此場の仕儀、詮方なしに頭を下げ 奧「確かに心得居ります 源「兄上には唯今斯樣なお立派なお家にお住居、夫に引替へ源吾は浪々の果に漸く仕官の道を得た身の上、囊中自から不如意でござる、どうぞあれは御返しを願ひます、」「少々お待下さいますやう」と奧方は奧へ入られました。

久「こりや用事か 奧「アノ源吾立歸つてでございます 久「先非後悔致し其方の袖に縋つて詫をして吳と申して…… 奧「なか〳〵左樣な譯ではございません 久「左樣な譯ではない、何う云ふ次第だ」斯く斯く斯樣でございまするると話をすると、ヤ怒つたの怒らないの水沼久太夫 久「ナンだ、プ、プ、無禮千萬な事を申す奴、人に惠みを受けて、返せば却つて失禮と心得遠慮致して居つた、返さつしやい」軈ての事に奧方が持て來られた十三兩二分、源吾は受取つて懷中に納め 源「扨姉上……奧「何か未だお忘れものでございますか 源「就きましては申し惡い次第ではございますれど、金子を人に只貸す者はございません、利息を戴きたうございまする」暫時惘れて居られた奧方 奧「如何程差上ましたら宜しうございませうか 源「五兩金頂戴仕りたうございます 奧「少々御待を……」と奧へ入つて此話を致しまするすると此度は水沼久太夫飛上つて怒りました 久「重ね〳〵卑しき言葉、叩き付て遣りなさい」間もなく奧方から貰ふた五兩の金子を懷中に納め鼠の遁るが如く門を出た大高源吾、

ライラック化粧水

化粧水の女王として本品が驚く可き勢力を以て上流社界に愛用せられつゝある理由は

生た證明人

たる理容館化粧部が十餘年間實地に試驗し其効能の絕大を保證するからで

安心の出來る

化粧水として嗜ある紳士淑女の一時半時も手放せぬのも無理からぬ處也

定價 大五拾錢 小參拾錢 到る處化粧品店にあり

發賣元 理容館

東京新橋竹川町十二番地 ライラック水東洋總代理店
電話新橋二三〇二番 振替口座東京一四一〇〇

市內特約店

東京日橋區銀座一丁目九番地 佐々木商行 電話京橋四七二 振替口座三千二百二〇番

東京市日本橋區馬喰町三丁目六 田中花生堂 電話浪花三二二番 振替口座三三三四

○各女學校裁縫科御用

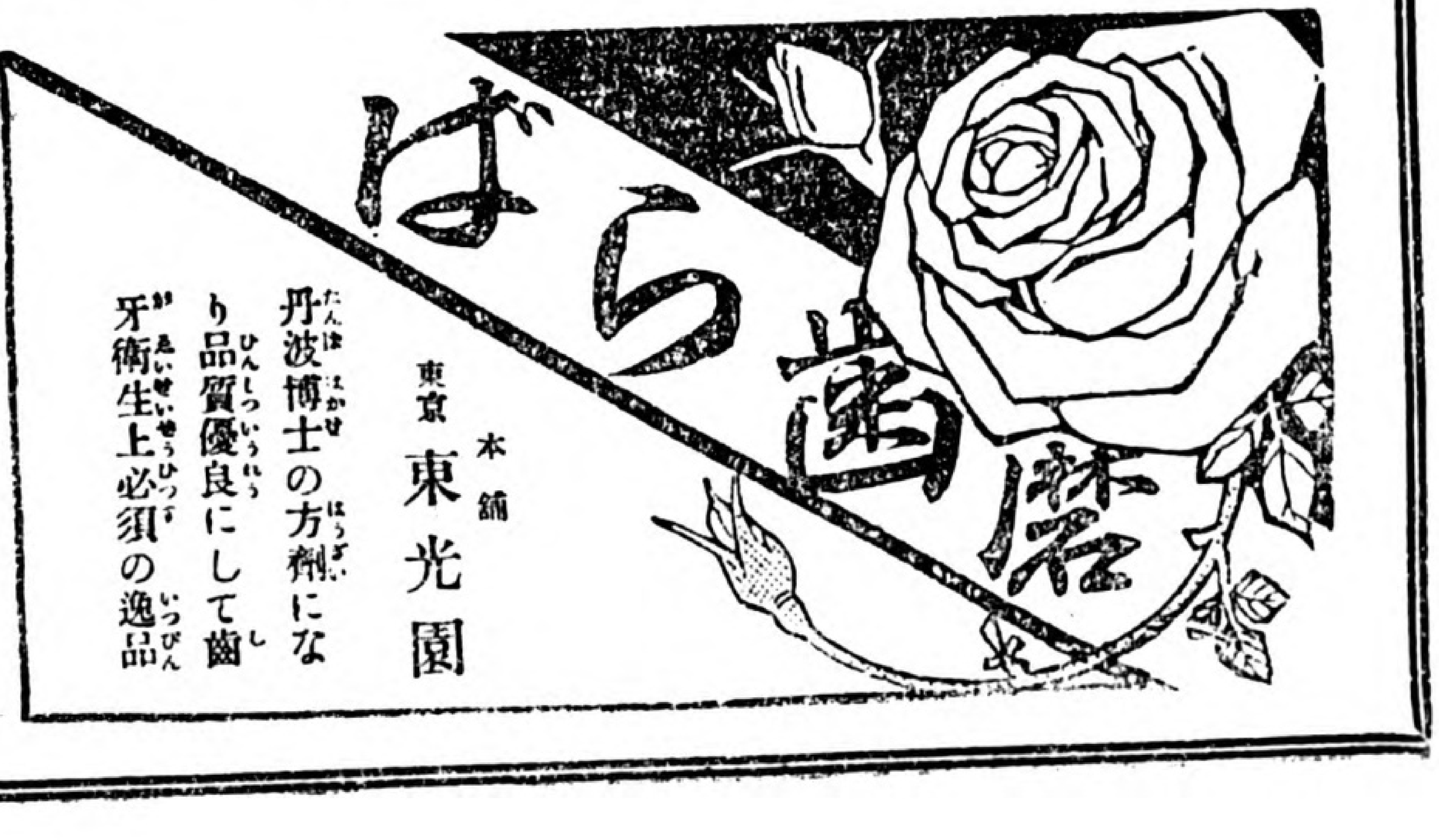
一號 木箱入 金二圓五十錢

二號 金一圓六十錢

僅少の炭火で長時間用ひられ和洋織物に効めよく火の消えぬと、使ひ心地よきことたぐひなし

（目錄進呈）

發賣元 東京淺草區茅町淺草橋際 阿部彥四郞商店 電話下谷一九二三・三二三 振替東京二三四八六番



ばら齒磨

本舖 東京 東光園

丹波博士の方劑になり品質優良にして齒牙衛生上必須の逸品

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

中村勘助の待つて居る處へきて斯様〱と話を致しました 源「ハヽ、遣つたか 源「遣つたも遣らんも無い、拙者あんな辛い思ひをしたのは初めてだ。目から火が出るやうな心持が致した 勘「尊公は目から火が出るやうな心持が致したと云ふが、拙者は最前胸に錐を揉込まれるやうな心持が致した、是で帳消だ」危ない〱、賢者には近寄るべからず」と果は兩人が笑ひ話に致して江戸へと下る、石町鐘撞堂の傍側、垣見五郎兵衛垣見左內と變名して、內藏助親子の宅が出來まする直樣參つて此話委細を聽いて內藏助 內「何故行かれました 源「兄弟の情合に引かされ、申し譯のない事で 內「御身の日頃の分別にも似合ざる事、向後はない事でござらうが氣を注けさつしやい、中村氏何といふ無分別で… 內「仰せの通り源吾の無分別、私が智惠なき智惠を搾り危ふき處をのがれました、仰せの通り源吾の無分別 內「イヤ無分別とは源吾殿の事でござらん、お身の事でござる 勘「拙者が 內「餘人でござらん、水沼殿は豪ゐお方、確かに犬畜生同然と考へて居らるゝ處へ十三兩二分と言はれ、續いて五兩の利息と言はるれば借こそ仇討と直ぐ氣が注かるゝに相違ござらん、最早水沼殿は仇討を能う御承知、水沼殿なればこそ宜けれ上杉吉良の間者長尾・千阪、本庄等の耳へでも入つたら何とせらるゝ、大地を打つ槌は外るるとも今內藏が申す事は外れますまい、大高殿の出られた後、直ぐ氣が注いて居らるゝに相違ござらん、向後もある事、氣を注けさつしやれ」と懇々と叱られました。

果せる哉、內藏助の言ふたる如く、源吾が出て行つた後、暫時の間だ腕拱いて考へて居た水沼久太夫思はず膝を打つて 久「失策つた、源吾を呼べ 奥「最早源吾は立戻りましてございます 久「吁左樣か、早う人を出して源吾を呼戻せ、拙者源吾に手を突て詫をせんければならん武士道を過つたり」と云ふ騷ぎ、八方へ人を出して尋ねましたが東西南北早や其影無し、立歸つて家來一同が斯く〱との話 久「左樣か」と只一言、其儘奥へ入つた水沼久太夫、人無きまゝに倒るゝ如く其處に坐り 久「吁濟まん事を致した、十三兩二分の金子と申し、更に五兩の利息と言ふた時の源吾の胸中何れ程煩悶ない事であつたらう、あはれ忠義無類の弟に此苦しみを爲せたは水沼が一生の不覺、赦して呉れよこりや源吾」と男泣きに泣いたは天晴れ男、早う仇討のあれかしと待つ甲斐あつて其年極月の十四日、打出す山鹿の三段流れ、元老內藏助が指揮の下に討入る赤穗浪士四十六、翌日泉岳寺から源吾が出した一通の書面、懇々との詫、連名付、中に包んであるは十八兩二分の金子、東都を出たる義士の書翰を他國で初めて受取つたは水沼久太夫、執る手遲しと封押し披き、暫時の間だ涙に暮れて熟と見入つて居りましたが 久「天晴なり源吾、此の音信一時も早うあれかしと待つて居つたぞ、兄は弟と思はずして彼の樣な情なき仕打を爲したるに、其方兄ならざる兄を兄として此の志を贈つて呉れたか、忝けない——こりや源吾、遲れて行くも先立つも末の雫や元の露、軈ては彼の世へ參つて詫致すぞ、其に就けても此の一通こそ水沼の家に傳ふる重寶、末世末代武士道の龜鑑、之に勝す物なし」と遙に東都の空を眺めて且つ泣き且つ喜んだ水沼は大人物、義士外傳水沼久太夫と大高源吾の一節。（をはり）

●教の金盥　早川貞水講演

右次號より掲載

凱旋サイダー

ハチ印

シャンペンサイダ
製造元 澁谷

新奇な おもしろい めづらしい
オモチヤ
東京銀座三丁目
伊東屋玩具店
電話京橋二五二三 口座二〇四四五

ニキビ そばかす、なまず、田蟲其他吹出物一切に特効ある藤薬學士發見最新奇薬製劑發賣す郵券二錢
●入者に該病療法事無代進呈
東京市本郷區東片町二九
振替口座東京七六二九
長田商會

其名譽と信用の世界的なる清涼飲料
●日英博覽會名譽賞
今回更に伊太利萬國博覽會に於て
●名譽賞受領
●宮內省御用達
●各宮殿下御用品
●陸海軍御用品
●赤道往復帝國軍艦御證明
●東京京都醫科大學病院御用品
●東京胃腸病院御用品
三ツ矢平野水
三ツ矢サイダー
三ツ矢オレンジ
シナルコ
他に比類なき純良鑛泉天然炭酸瓦斯製

官許
家傳靈薬
乳の出る薬
いかなるちゝにても出る事神妙なり
價 一週分 三十五錢 送料 四錢
＋
金婚正宗發賣元
東京市神田區美土代町二丁目
豐島屋本店
電話本局 三八八一 三八八〇番

英國製
フランネル
セルジ
コート地
新柄
御用命の節ハ直に見本持参可致候
毛布膝掛類
京橋區南傳馬町二丁目
三木商店
電話京橋三九五番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

話の種

■妙な賞と稅

亞米利加合衆國では漸次人口が減少するので心配して來ましたが、遂にイリノイス州の下院で出産奬勵の爲め、一切の既婚婦人に婚後二年間に出産する時には五百法の賞金を與へることを議決しました。此賞金は新たに出産する毎に増額する事になつて居りますが、此金の出所はと云ふと、それは獨身者に稅をかけるのです。即ち男子が二十五歳以上に達して尚結婚しない者は一ヶ年五十法を拂はなければならぬ。獨身婦人に年々二十五法の稅金を拂はせることは、多數の反對者があつて遂に可決しなかつたさうです

■鐵道王未亡人の迷惑

世界の鐵道王と稱されました、米國のハリマン氏の未亡人に向つて救助を乞ひますものが近來非常に多く、最近に得たる嘆願書のみでも六千通に達し、寄附若くは補助を乞へる金額が合計三億五千萬圓以上で、未亡人の財産よりも遙に多額ださうです。中には猛烈なる手込を爲して救助金や寄附金を要求する者もありますので、未亡人は外出毎に警官の保護を頼んで居られると云ふことです。

◎本會員と南北社婦人部

大隈伯を始め高田浮田兩博士及び杉山重義氏等の後援にて昨年末より牛込區神樂坂に開業したる書肆南北社は理想的の本屋たらしむるの方針にて歐米諸國に行はるゝ最新の設備をなして販賣し他の書肆に類なき廉價賣をなし居れるより短日月の間に非常なる發展をなし又地方人の爲めに設けたる通信販賣部は取扱の確實なると賣價の廉きとによりて頗る好評を博し居れるが近來各地の婦人團體よりの注文類なるより今後は婦人、家庭、少年向の書類を多く蒐集し特に愛國婦人會員の注文に對しては特別の便宜をはかり本會々員なる旨申添へ注文するときは何れの發行なるを問はず婦人家庭少年に關する書籍雜誌は總て定價より一割二分以上の大割引をなすと云ふ因に同社は牛込區神樂坂上にありて振替番號は東京一九四番なり

世の多くの婦人は

子宮病の治療を誤て居ないか

一概に子宮病と云ても其種類は隨分多く從つて治療法も種々あるが、一般婦人の自宅治療を見るに甚だ勝手氣儘で服藥は厭だの洗滌は面倒だ、さし藥は困ると病源を考へ藥を適用せず、自己の都合より割出した藥物應用である、爲に内服藥の必用なる症狀に向て外用藥を用ゐ、外用藥の必用は内服藥のみを用ゆる矛盾の治療をして、子宮病の不治を嘆く婦人の多きは誠に殘念である津村順天堂の自宅治療法は一藥萬能主義でなく一數種の加減内服藥と數種の外用藥を以て婦人病の根治を保證するのであるが今外用藥中將湯を使用すべき諸症を同病患者に告白す幸に自己の症狀を考慮して本劑を用ゆれば必ず滿足なる結果を得べし尚詳細を知らんと欲すれば詳しき容態を記して本舖津村順天堂へ申込れよ

●中將湯は婦人病一切の内服藥にて中將宮は子宮内膜炎とか白帶、赤帶、こしけ、子宮痙攣、子宮加答兒、膣炎、膣加答兒、子宮爛糜、子宮惡臭、子宮搔痒、尿意頻促、月經時の疼痛、痲毒性子宮病等に特效あり殊に良夫の痳疾に罹り居る時は痳毒菌の爲に心付かざる内に子宮を害する事多ければ常に中將球を使用して本病を豫防せられよ不姙性と流産、子宮内膜炎の分泌物及び酸性の粘液は精蟲を害し不姙症を起し子宮の炎症、卵の發育を妨げ姙娠するも流産となる事多ければ本劑を使用して病根を斷つ事肝要なり

定價百二十個五圓四十五個二圓二十個一圓九個五十錢三個二十錢本舖は東京日本橋通四丁目(振替口座一六八〇番)津村順天堂です●取次全國各藥店

陸海軍諸官省御用達

鋼鐵製改良風呂釜
湯屋用改良釜
檜製箱風呂
樋製桶風呂

實用輕便傘置臺

此傘臺は鐵製にしてネヂ留に仕込あれば取はづし自在雨傘洋傘ステツキ置晴雨共使用出來極便利なり

實用新案 複製形名 **ミカド火のし**

●圖の如く外部には裝飾兼備の風通し穴あり以て熱度の加減を自由ならしめ僅少の炭にて長時間使用し得る實用的至便の良器なり

定價 甲金一圓八十五錢 乙金一圓三十五錢

實用新案 **火のし臺**

此火のし臺は金屬製にして御使用の節は是非必要の器具なり 甲廿錢 乙十六錢

●販賣所全國到る處の金物商店にあり

製造發賣元 日本橋通油町 電浪一四六二 **石川商店**

一手販賣 京都市四條通り柳馬場東入ル 電上一五〇四 金物商 **春井商店**

はげ、脫毛、薄毛、生際惡き人よ試

本劑は第一毛をはやし、ぬけ毛を止め、髮の毛はへぎは眉毛髭等の薄きをこく生し皮膚病でき物ヤケド跡はげ其他あるべき所毛なきに用て毛はへる事請合

毛生液

●藥價卅錢五十錢特製一圓二圓送料六錢

本舖 東京馬喰町二丁目 大阪平野町一丁目 山崎榮三郎 本店擴張部

◎僞物御注意!

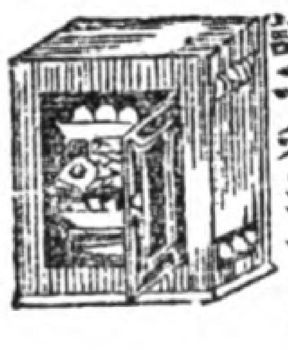
賣捌全國至處藥店化粧品店に有り

別染めりんす友染
珍柄秩父めいせん
其外絹綿交織反物

東京人形町通よし町
赤のれん
おむなや本店
電話浪四三四五番

向ふまへ
おむなや(めりんす)店

特許 **名和式テンピ**



嘗つて婦人世界誌上に於て弦齋夫人の料理中其の効用を稱せられたる和洋兼用テンピなり

定價 大二圓七十錢 中二圓廿錢 小一圓七十錢

説明書及商品目錄御申越次第送呈仕候

東京日本橋區蠣殼町二ノ十五 **名和商店**

電浪一一七七番
振替一〇二五四番
支店 神田和泉橋通り松永町十八

四季の好飲料

●チヤリーサイダー
●チヤンピンサイダ水
●レモンネード水
●ヂンジヤエール
●食麵麭

食パン

帝國大學御用

東京市京橋區南小田原町三丁目九番地

チヤリ合名會社

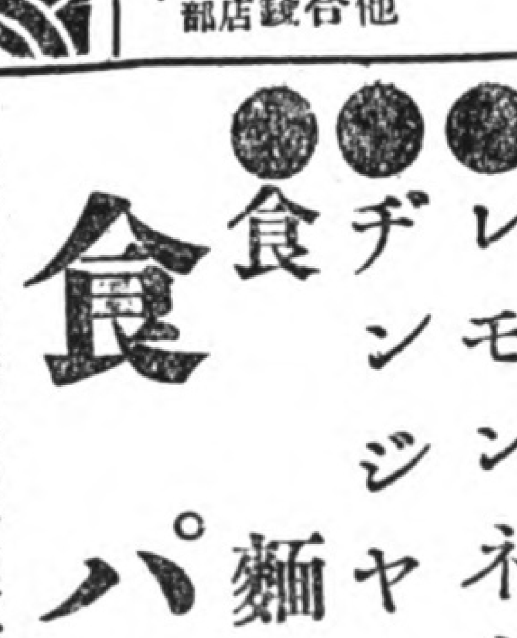
電話新橋一四三三番

贈答用の好適品

●天下の婦人に適應せる良藥ありや

神功湯は藥劑の精撰製劑の親功なる世に定評あり

婦人藥王



定價	
試用分	金拾錢
四日分	金參十五錢
一週間分	金六拾錢
二週間分	金壹圓拾錢

故に神功湯は効驗の卓絶と時代の適應とを

●天下に誇る者なり

大略効能 子宮病、血の道、ヒステリー、神經諸病、月やく不順より起る諸病、子宮癌、白血、赤血、血脚氣、産前産後の諸病に有効

本舖 東京市神田區柳原河岸通り **山田天賜堂**

電話浪花三三五二番 振替貯金口座一〇五八一番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

合名會社 森村銀行
東京市日本橋區通一丁目
電話(特)本局六七三番 電話本局四九八番
定期預金 六ヶ月 年五分
當座預金 百圓に付日歩 七厘
特別當座預金 同日歩 一錢一厘

東洋一製造大販賣 卸し小賣
◎夜具蒲團類 綿ざぶとん
街鐵も外濠も小川町東明館前に下車を乞ふ
諸官省御用
神田表神保町二 矢田本店
電話本局二〇一八番
市内無賃配達
階上縦覧御隨意 珍柄高等品澤山有り
綿質保險附 確實大勉强 正札引なし

特許 巴風呂
燃料は何でもよし
二十分で沸く 三錢の石炭でくべ一費用は五分一

特許 巳式 一分湯沸
半分間で沸く 水を差せば差す丈湯となつて出る

東京神田區今川町十九 巴商會

東京高等師範學校講師 山松鶴吉先生著
好評三版
小學校に聯絡せる家庭の教育
●●家庭の教育は學校教育と相聯絡提携しなければ其目的を達する事が出來ない。●本書は教育の實際家たる著者が家庭教育上特に注意を要し實行を必要とする實際的の事項を極めて平易且懇切に述べられたるものである。
菊版函入上製 定價金壹圓 送料金拾錢

新刊好評
藤川淡水先生著 小川千甕畫伯
論語お伽噺
四六版美本 定價金七拾錢 送料金八錢

東京高等師範學校訓導 相島龜三郎先生 馬淵冷佑先生著
兒童課外讀物
少年物語
尋常第三學年第一編第二編 尋常第四學年第一編第二編 既刊發賣
各冊定價金拾貳錢 同郵稅金四錢
●本書は現今の修身、讀本、歷史、地理等各學年相當の國定教科書に連絡を求め編纂せるものなれば家庭にありて常に本書を熟讀せしむれば各學科の補助たるは勿論兒童の文學的趣味を養ふと共に有益なる智識を與へ且讀書力を增進せしむるを得べし
發行所 東京市神田區小川町 敬文館 振替口座一二三三六

京橋區

◎院長ドクトル木村順吉
次長醫學士福田康甫
婦人科産科
京橋卅間堀一丁目角 電話京橋一六七〇番
木村病院

芝區

婦人科産科(診察午後 入院隨意)
醫學士久保德太郎
芝區愛宕下町四丁目西ノ一 電話芝七三三番

◎産科婦人科
芝明船町十九虎門外 電話芝二六四二番
櫻井克巳

齒科診療
毎日自午前八時至午後五時(但シ十五日廿八日休診)
芝區烏森町一番地
石川齒科醫院
電話新橋一九二〇

小石川區

◎産科。婦人科
◎内科。小兒科
小石川西江戸川二六 電話番町(一四二六)
森種太郎

赤坂區

小兒科 醫學士石塚保吉
赤坂區青山南町三丁目
電話芝三四七四番

腦神經精神病
院長ドクトルメヂチーネ 齋藤紀一
專門醫學士三名 在歐 田澤醫學士
特長 電芝二七四五 電芝二六六五 電芝三四〇六
東京赤坂 帝國腦病院改 青山腦病院

本郷區

…(診察時間)…
○産科、婦人科 入院應需
月水金午前 橋爪病院(浪花二六〇番)(日本橋區龜島町一の廿九)
毎日二時ヨリ五時迄 自宅(下谷二四八七)
本郷區眞砂町十五番地
醫學士橋爪哲造

下谷區

産科婦人科天本醫院
下谷區仲徒町二丁目卅五番地
院長(入院隨意) 醫學士天本治
(電話下谷二六六九)

四谷區

小兒科醫院
本院 四谷區西信濃町十四番地(電話番町八七四)
宅診午前中 入院應需
院長 醫學士川村正治
副院長 醫學士川村信一
分院 芝區西久保巴町四十五番地(電話芝二〇八六)
宅診自午後二時

神田區

醫學士村松平次郎
診察(午前七時ヨリ正午迄午後往診)
村松内科診察所
神田區表神保町六番地(東京堂横通り)
電話本局一四五二番

東京神田區美土代町三丁目十七番地
内科一般 午前宅診 午後往診 板垣亭
電話本局貳千九百七拾番

麹町區

醫學博士 榊順次郎
醫學士 久保德太郎
醫學士 田代謹二
醫學士 石塚保吉
毎日午前診察
日曜水曜午後婦人科的外科
火木土曜日午後泌尿器病及内科
水土曜日午後小兒科
●施療火木土午後自一時至二時
●施療姙婦産婦ヲ取扱フ
婦人科産科 榊病院
麹町區三番町三三(電話番町三〇三三)

内科診察 宅診午前及夜間九時迄 往診午後
麹町區四番町四番地(電話番町貳三八四)
醫學士中山敏樹

淺草區

内田病院
淺草新福井町二(瓦町停留場際)
事務用電話下谷七一八
病室用電話下谷四八三八
●小兒科專門
病室落成に付隨時入院の需めに應ず
院長醫學士内田愼太郎
午後診察副院長擔任
副院長醫學士瀧原五郎

日本橋區

濱町病院
日本橋區濱町三丁目七番地
電話浪花一六〇番 同一六一番
産科 婦人科
院長醫學士小林八十七
醫學士大瀬貴明
醫學士佐野綱次郎

府下

腦神經精神病科
東京龜戸町 電話本所二五五二
加命堂腦病院

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

水晶おしろい

すきとうりたる水にて付るさ白くなる流行の薄化粧料にして目立ぬ故男子まも用ひられる

定價 五拾錢 貳拾五錢 拾五錢

本舗 東京 大和屋

北原社牛乳店

麹町區飯田町
電話番町二五四

バタ、クリーム
御注文に應じ速に配達致候
牛乳一瓶金五錢

米國製最新式 寫聲機着荷發售

東洋一手大販賣元 天賞堂

Columbia Graphophone

新着名人「レコード」●價一圓廿五錢均一
新着兩面「レコード」●價二圓均一
新着兩面名人「レコード」●價二圓五十錢均一
普通片面「レコード」●價八十錢均一
其他各種

本機械
甲種 卅三圓
乙種 廿八圓
丙種 廿三圓半
此他六十圓迄數十種

●義太夫（攝津大掾 大隅太夫 豊竹呂昇 竹本小清）
●長唄（杵屋六左衛門 杵屋勘五郎 芳村伊十郎）
●謠曲（寶生九郎 觀世清廉 梅若萬三郎）
●常磐津（常磐津林中 同 文字兵衛）
●清元（清元延壽太夫 清元彌生太夫 清元梅吉）
●三曲（荒木竹翁 荒木古童 今井慶松 高橋榮清）
●薩摩琵琶（吉水經和 那須祐直）
●軍談（美當一調）
●新内（富士松加賀太夫）
●演劇（中村歌右衛門 中村雁次郎 市川左團次）
●臺詞（松本幸四郎）

其他筑前琵琶、詩吟、木遣、草笛、落語、講談、物眞似、影芝居、葉唄、大津繪節、甚句、追分節、浪花節、唱歌、音樂、阿呆陀羅經、俗歌、雜曲等壹千有餘種

東京市京橋區尾張町貳丁目（電話新橋特長三三、三四、三一五三）

時計寶玉貴金屬美術品內外雜貨商

天賞堂本店

常ニ使用スレバ色ヲ美クシ肌ヲ滑ラカク光澤ヲ出ス本品ノ特色ハ使用ノ際永ク湯水ノ中ニアルモ又ハ紙ノ如ク薄クナルマデ使用スルモ溶ケ又崩レルコトナシ

東京市京橋區新富町七丁目六番地

石鹸製造業 相馬帝國社

LACTAGOL

無乳産婦の福音！

本品は「ペックマン」博士に據りて報告せられたる無臭美味毫も副作用なく蛋白質及脂肪質の多量を含有せる乳汁を分泌せしむる新藥にして本邦に於ては「ドクトル千秋雄雌郎氏」に據りて既に二十六人の産婦に試用せられ其症に據りては服用の初日に於て効能を發揮し他の場合にも七八日間連服せしむれば完全に奏効す（用法容易）「ドクトル千秋氏」の報告印刷物御要求に從ひ無代進呈す

一日用量十五瓦にして百瓦入壹函代金參圓也

東京市日本橋區本石町三丁目
藥種問屋 中村瀧次郎
電話（長）八六九番 本局（三）五六九番
振替貯金口座東京九四三番

●各女學校御用品

新案特許 一九五〇三 ハイカラタスキ（御使用法注意）

片たすきの圖

はすにせなかへかけたる圖

そでを前へかけたる圖

時代の要求に應じて生れたるハイカラ襷は御覧の通り袖が自由自在いろいろになります、女學生女子事務員、奥さん、女中さん共に必要

特色

一今までの襷とちがひ袖へ（しは）のつく心配がなく掛けはづしにも面倒でなく便利です

一せなかへ（はす）に掛けると右の袖がうしろへ引かれる故水仕事の時には最もよろしく腕を充分に出さうとするには袖口の近くへ（ばね）を御付になれば自由に出ます又十文字になりませんから暑中などにも衣類へあせが付かずわずか一尺五寸位の紐さへ御取りかへになれば永年御使用が出來て甚だ御經濟です

御使用の節は必ず兩袖へ（ばね）を一つゞつ付てから後でいろいろに御掛になればよろしいのです

定價		送料
拾個入	金七拾五錢	六箱迄 八錢
五個入	金參拾八錢	四箱迄 八錢
壹組	金八錢	一組 貳錢

東京市赤坂區青山南町二丁目十六番

竹中商店

電話芝二八八四
振替東京三二二三

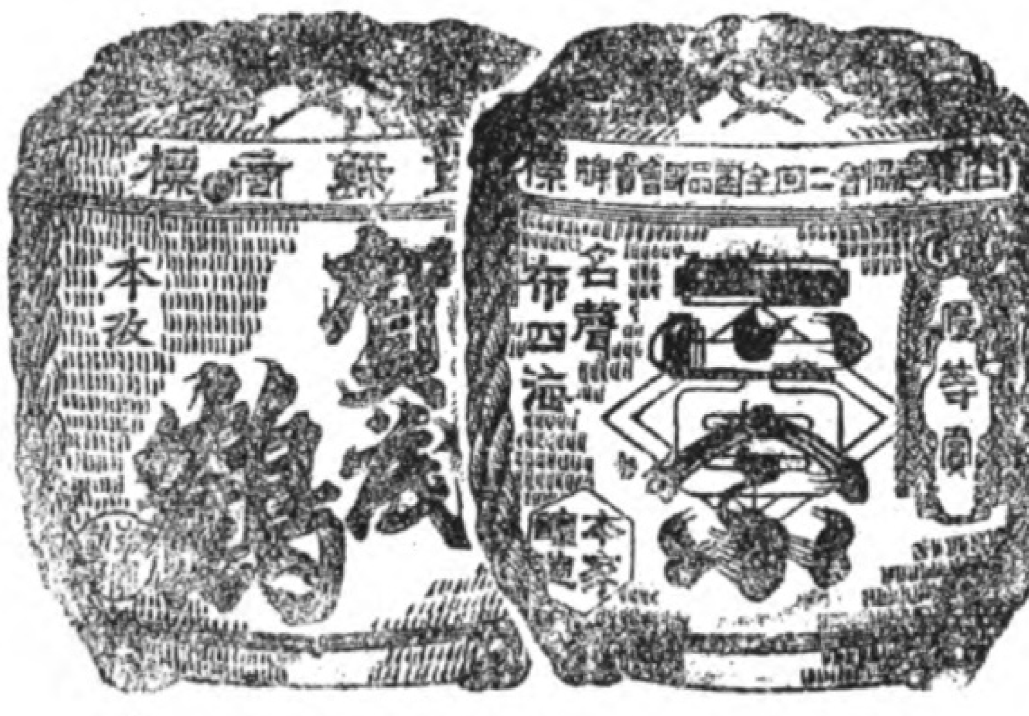
特約販賣希望の方は郵券十錢封入あれ見本及び割引規則書送る

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

宮內省御買上の光榮を賜ふ

天下一品

陸海軍御用達
愛國婦人會御用



鐵道管理局
旅客課御用

●市內一升以上御注文は直ちに配達仕候
●市內各酒舗ニ賣捌仕居候

東京日本橋區蠣殼町三丁目十二番地
發賣元　木村東京支店
電話浪花一七一五●振替東京一八五八六

クレームシモン

羽二重のように滑かに、薔薇の如く美しく、色を白くし艶をよくする

美顏用「シモン、クレーム」

（佛國シモン會社製品）

三越呉服店を始め各地有名なる和洋小間物化粧品店にあり

日本代理店　橫濱市山下町廿三番地　エー、ハイム商會

舶來羅貨

春陽之候各位益御清勝奉欣賀候今般弊店特輸之春季新品續續荷着仕居候に付不相變御愛用之程伏而奉願上候

今井商店

京都市四條御旅町
電上 二四三 三四五一

產科專門諸大家執筆

產婆學雜誌

伊庭醫學士の『產婆學講話』每號連載
▲一冊十五錢▲一年分一圓五拾錢
每月一回十五日發行（振替東京六四六九）
芝區三田綱町十一日本產婆學協會事務所

裁縫界の新福音

女學生必携

新案登錄第二〇六三〇號

都はり箱

郵稅
市內　無料
內地　十二錢
臺、朝、清、樺、三十錢
代金引換又は郵券代用は拾錢增

此都はり箱は優美高尚にして蓋を開くと中を圖の如くに切り其內に起伏伸縮自在なる金屬製のくけ臺を取付け又、はさみ、こて、へら二つ折尺度、つま形、袖形、針、針差、指貫に至る迄の裁縫具が一切入れて有ます又五色の糸は自働的に回轉する頗る重寶な針箱です今回高貴の方の御買上げの榮を賜りたり

定價（荷造二付）

一漆塗金蒔繪製金貳圓五十錢
一神代杉金字入特製金壹圓五十錢
一クロース洋本形金壹圓
一桐材製同金五拾錢
　但しクケ臺木製尺褄形袖形なし
一同上製金貳圓
一同並製金壹圓
一同上少女用金七十錢
　但し同上並にコテなし
◎特約御望の方は御申込を乞說明書割引書呈す

製造發賣元　都堂
東京市淺草區西三筋町四十三番地
振替口座東京第二一五七六番

◎販賣店は三越、白木屋、發明館、其他各所にあり

春と婦人衛生

婦人科專科某病院長の談話（安全堂主人筆記）若い令孃方が初期の月經を見るのは多く此春季ですが此際には餘程御注意なさらないと意外の病氣に罹る事がマ、御座い升、初は誰も親に話すのが恥かしい者ですからツイ不潔物で用をたして病毒に侵され子宮病やヒステリー等に罹るのが多ふ御座い升、私の患者にもコンナのが澤山有升、ソシテ其人達は皆良家の令孃方なのです、其一人は病毒を含むだ手巾から（多分其家に痳疾の方が有たのでせう）若い身空で消渴になつて居るのです其他、月經初期の婦人でなくても不完全な防經を爲さるゝ爲めに傳染性の病氣に罹る人が澤山有升、然ば如何にせば前陳の危險より脫する事を得べきかと云へば先づ予が友藤川藥學士の發明の安全帶の如きを每月經の際御常用されるに限ると思ます。

本舖　安全堂
東京市下谷池ノ端七軒町四二
振替東京壹六九貳〇番

關西代理店　洋々堂分店
大阪阿波座上一　電車道角
振替大阪壹壹四六壹番

定價一　安全帶●甲壹圓廿錢●乙八拾錢●丙五拾錢●各壹本で四五年使へ升●安全衣一打金四拾錢
●內地送料壹組（帶衣共）金八錢、餘は一組每に貳錢增し、清鮮樺太臺灣は金參拾錢

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

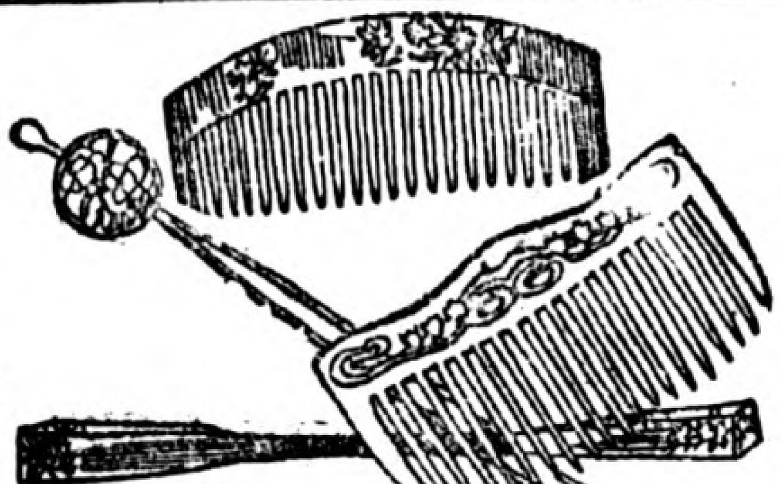
乳王はちゝの出る藥

此の藥をのめば乳の出ること請合牛乳もいらず、ちゝ粉も、コンデンスミルクも、乳母もいりませぬ、そして小兒は福々と成長します普通一週いかに乳少き人も四週呑で功能が無れば代價はかへします

一週間分　金四拾五錢（郵税八錢）

御注文は振替口座大阪四三八六番

大阪市西區薩摩堀裏町　遠藤勝枝



巴里の生粋を直輸せる新着各種リボン

高尚なる寶石入束髪ぐし

目下流行界に持囃される軽く工合よき前髪シン

其外御婚禮用鼈甲櫛笄簪及小間物流行品一切尚御便利の爲御持古しの小間物御交換仕候

東京神田區須田町

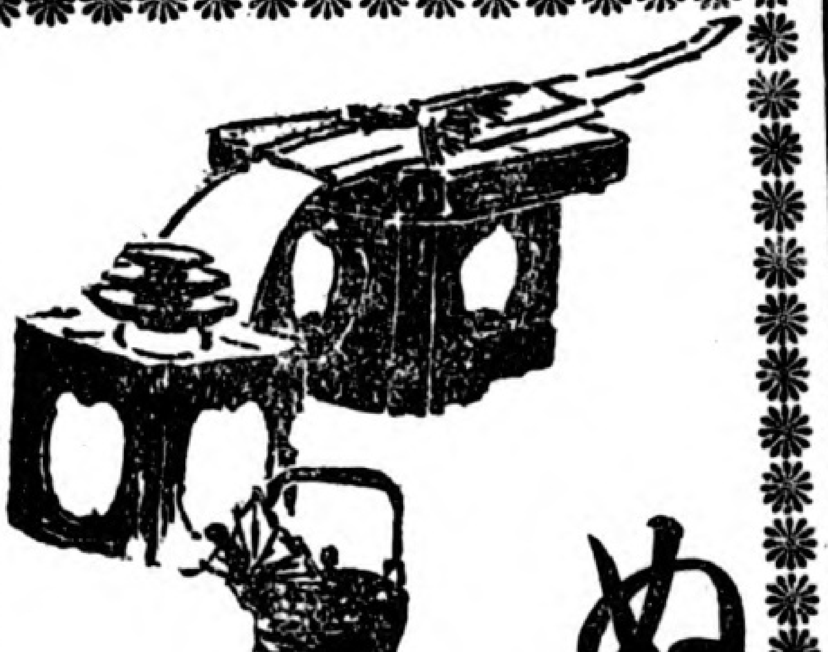
鼈甲萬小間物商

三井屋商店

電話本局二〇七六番

振替口座二八一番

新橋、博品館内支店、神田、東明館内支店



ぬり物

商品陳列場を設け各種取揃有之候

東京市日本橋區通二丁目

（伊）きん藤漆器店

電話本局長五〇六番
九八五番
陳列場用本局九〇六番

御料 御園白粉

御園化粧品

御園白粉及御園化粧品は高貴の御料に召させられ、貴婦人令嬢を始め俳優並びに花柳界及一般の御婦人界に行渡りまして、本邦唯一の定評を賜りました純無鉛製の白粉、其特色は濃淡自在乘りよく伸びよく世話なく附きまして且つ長い時間を保つ上に半襟を汚す事が少なく、肌膚を透して自然の生彩を現はしまして、猶皮膚の衛生に適ふやうに注意が行届いて居りますから、如何な場合にも安心して用ひられて、尚且つ完全に美しいお化粧が出來ます其外平生の身嗜みとしては化粧水御園四季の花、美顔料御園クレーム等を欠かさずに専用なされば荒れ性の方でも寒中に肌膚の荒れる事を知らずに肌理細かく色艶麗はしい皮膚を保つ事の出來ますのが、御園化粧品の比類無い實証です

製造本舗　伊東胡蝶園・發賣元　丸見屋商店

夏向新柄種々着荷仕候

[illegible]

東京市日本橋區堺町通り

御扇子

愛國婦人會御用達

京都寺町五條下ル東側

御影堂　持阿彌

ミカドグランドレコード

最新式吹込　拾壹吋盤

御待兼の浪花節

其他吉田奈良丸其外京阪名人揃ミカドグランドレコードは諸君の目下御使用の何れの蓄音機にても演奏せらるゝ也

義士傳孝子迷の印籠　續貳枚　奈良丸

源平一の谷合戰　教盛呼返し　續貳枚　同人

地唄　黒髪、流の枝、鶴の聲、

流行唄（尺八唄三絃合奏）さのさ節、やすぎ節、大津繪、ありやりやのな節、五段返し

樂隊　野崎連引、深川踊、三十三間堂、騎兵の襲撃、觀兵式、君ヶ代、革命軍の話、すてゝこ踊

滑稽　米の説教、滑稽都々逸

以上拾壹吋盤　定價壹圓七拾五錢

浪花節　伊賀越水月傳、小虎丸、女一代省愼鏡（合邦の辻）、内藏之助生立、勝田新左衛門、赤垣源藏引揚、南部坂雪の別

義士傳　演者雲右衛門（セステム）

以上拾吋盤　定價金壹圓五拾錢

ミカドレコード京都代理店

京都市河原町通三條南入三丁目奈良屋町西側

庵原商店

振替貯金口座大阪八七四

流行の指環

切立、及び蒲鉾形（無地槌目）

純金二匁附　金十二圓十錢
二十八金二匁附　金十圓二十錢
十八金二匁附　金九圓卅錢

片切彫刻三匁附

純金　金二十圓五十錢
廿八金　金十七圓六十錢
十八金　金十六圓三十錢

高彫二匁五分附

純金　金廿六圓二十錢
廿八金　金廿三圓八十錢
十八金　金廿二圓七十錢

寶石入

ダイヤモンド入金卅圓よりサファイヤ、ルビー、パール一個入金六圓五十錢三個入金十三圓

注意　御注文の節は厚ッ紙にて指の太さを御送附被下度候

送料内地十二錢臺灣清韓廿錢郵券代用一割増

東京京橋區南傳馬町三丁目

美術貴金屬及袋物細工商

丸屋商店

電話京橋二番。振替口座九五八六番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

東京勸業博覽會二等賞牌受領

都足袋粹乃友

○都足袋は農商務省に出願して登録商標專用權を得たる物なり
○都足袋は外觀優雅にして現に都人粹士の歡迎を受けつゝあり
○都足袋は踵に縫目なく衣服の裾を傷ふことなし
○都足袋は製作に至大の注意を拂へり故に履具合良好にして縫目破綻の憂なし
○都足袋の材料最も優逸にして經濟上勘なからざる効力を有せり

清涼足袋

○清涼足袋は實に名詮自稱の如く盛夏用に新案調製せしものなれば工合最もよろし
○清涼足袋は油足の方に最もよく夏用足袋として總ての點に於て具備せし逸品なり

白 紺 羽二重足袋

○羽二重足袋は外觀内容共に美麗にして一般社交界の好評を蒙れり
○羽二重足袋は御婚禮其他御儀式履きに缺くべからざる必要品なり
○羽二重足袋は衣裳の裾を傷めざるは勿論裾捌き最もよろし

各種足袋調進所

亀屋

地方よりの御注文は代金引換小包拾足以上は送料自店持にて御送品申上候

東京日本橋室町三丁目
龜屋 宮内清兵衛
電話本局一一七一二番
振替東京一二三四六番

苟も美容たらんと欲する諸姉は先づ
ラローラ
BEETHAM'S
La-rola
を愛用せざるべからず

此化粧用美容劑は酷寒々風硬水に堪る樣皮膚を保ち凍症、ヒビ、アカラ顔アレ等を防ぐに最も妙にして且皮膚を柔かく滑かに色白く若々しくす四季を通じて用ふれば常に美しき細膚を保ち得らるべし

M. BEETHAM AND SON.
CHELTENHAM, ENGLAND.

製造所 英國セルテンハムエム、ビーサム、エンド、サン商會

各地著名の化粧品店にて賣捌く

胃病良藥 太田胃散 食後又は食前に
定價十五錢、三十錢、五十錢、一圓
東京市吳服町 太田信義

御春衣新柄品揃

振替口座大阪五五二七番

御入用之品多少とも御申越下度候 御染物等は至極入念迅速仕候

京都四條御旅町 熊谷呉服店 長電二五番

刺繍用

釜糸、金糸、針 附屬品一切

女子職業學校教諭 實踐女學校教諭 長谷川岩吉先生指導

右御小賣共精々勉強仕候

東京市神田區今川小路町一丁目一番地

明治堂

登録商標
有名なる
ハカマヤ

德實懇切なる專業店裁縫巧妙なる特技を有し皇國善美の理想的實用品を廉賣して普く袴の親玉と無限の信用を賜わりたる光榮は是皆天下の諸君子が御愛顧の餘澤と偏へに其恩眷に酬ひん事を期し居候
●實用新案特許袴腰板專用
●婦人用珍品兩面實用パナマクロース

東京神田小川町
影山袴專門店
電本三八二六番

故有住齋翁著
類聚婚禮式
此編は斯道專門家有住翁が多年辛苦して著述する所其式古今に渉り諸流を併せ凡そ婚禮に關する事は網羅して漏さず其の是非を論斷して其の主旨全く皇國の美風を傳ふるにあり
全一冊　定價金一圓　郵税金八錢

瀬川さわ子編纂
名女傳
本書は貴顯、賢母、孝女、貞婦、名媛、才藻、卑女、漢土名媛、泰西女傑の九門に別ち總て二百四十餘名の詳傳を纂述せり文字平易に且つ平假名を附し誰人にても解し易からしむ
全一冊　定價金六十五錢　郵税金八錢

松屋呉服店意匠部編纂
新編 衣服裁縫積算法
本書は初經驗者をして裁積りの法を總てに於て通曉せしめんため先づ織物の丈尺より各呉服の名稱圖解種類注意事項等を通俗的に説明したるものなり
全一冊　定價金七十錢　郵税金八錢

發行所　東京神田通新石町　東陽堂
振替口座東京一一九〇六番

愛讀者君へ謹告

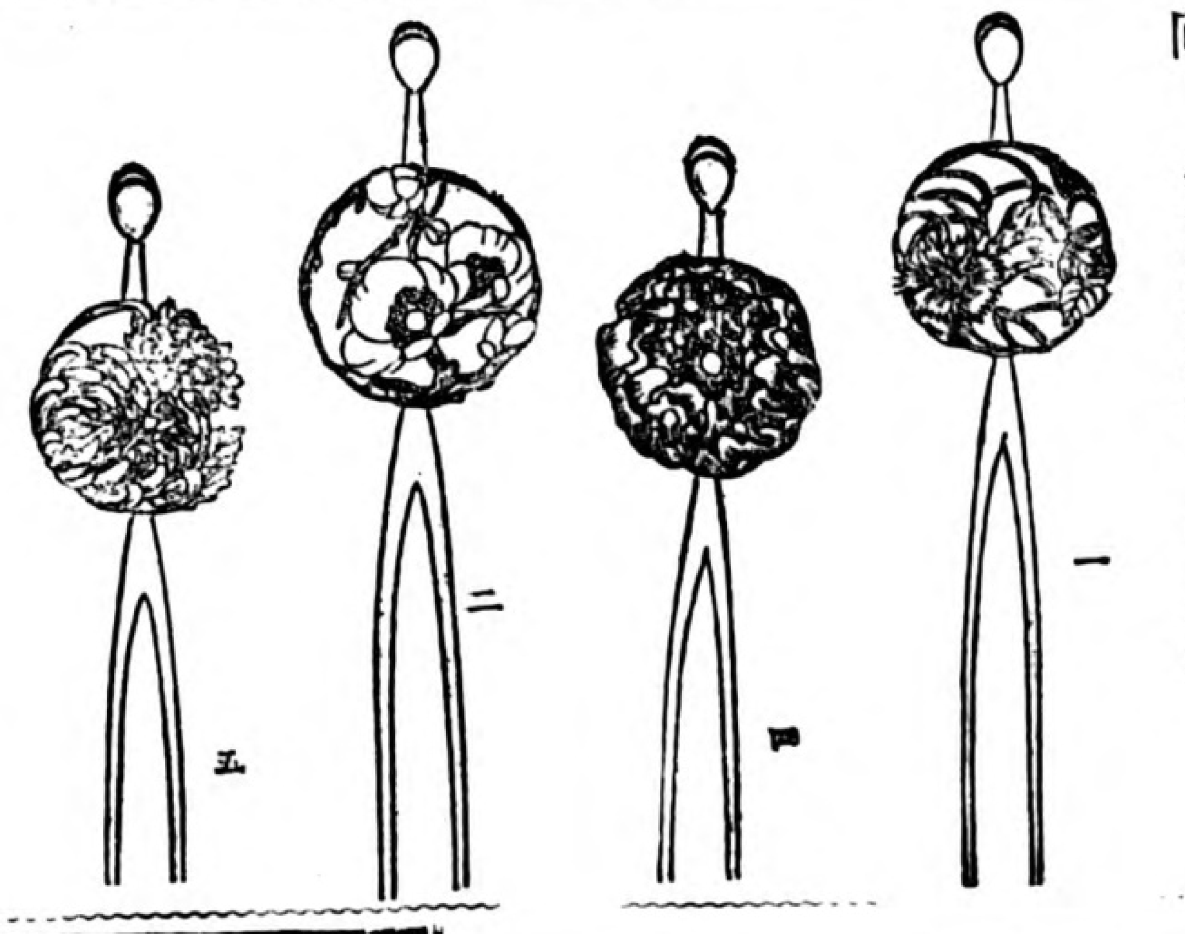
…出代金に四月、七月、十一月の三回に會計部より請求致します。其の手續きは郵便はがき又は集金人を差出します。其外都合に依りては郵便局に委託し請求致す事もあります。此の代金を御送りになりましても會計部にてございます。併し振替で御送金になる時は、拂込口座登記料として金一錢必らず御添へを願ます。

▲振替で御送金の御方には當所から殊更らに
▲郵便切手で御註文又は御送金の節は必らず一割増に願ひ上げます。
▲愛國婦人發行所の振替口座番號は毎號新聞
▲お手紙の御住所御姓名は明瞭にお認め下さい御轉居の節は、必らず新舊御住所御認め下さい願ひます。

愛國婦人發行所

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

季節向 金製透し彫簪



今流行の御婦人指環

ダイヤモンド眞珠入金白金製

地方より御注文は振替口座へ御拂込被下度願上候

美術 貴金屬袋物商
東京日本橋人形町通り
澤田治助
電話浪花二五六九番
振替口座一一二七二番

ハンカチーフ
マフラー
スカーフ各種

金牌受領 於伊太利萬國博覽會

東京日本橋區ふきや町
中西儀兵衛
電話浪花七百一番
振替口座一九七九九番

蠶具問屋

舶來簡易殺鼠劑

登録商標

代價 牛オンス入 五拾錢
一オンス入 壹圓五拾錢

●本劑の效力に就ては發賣以來既に諸官衙を初め一般使用者の實驗に依り古來未曾有の殺鼠劑として大なる好評を博せり而して牛オンスの藥劑は優に百頭以上の鼠族を斃すに足るが故に在來の殺鼠劑に比し廉價にして且つ本劑は他の藥品の如く使用上復雜なる手數を要せず又更に危險の虞なし
●現品には詳細說明書を添付す

蠶具製絲諸器械詳細圖解目錄 無代進呈

東洋一手發賣元
東京市下谷區仲御徒士町三丁目五十九番地
日本蠶業株式會社藥品部
振替東京五一二六番●電話下谷一二五四番

美人印へーヤーロール

東髮前髮心霸王

(五大特長)
(一) 形狀の崩さる事
(二) 貫目輕き事
(三) 三枚櫛にても保つ事
(四) 六十日間頭上は保つ事
(五) 價格の安格なる事

到ル處ノ小間物店ニアル

コロップかもじ製造元
東京市神田區豐島町
田中金三郎

專賣特許第七八九〇號 專賣特許一三一九四號

植木式 完全消毒壜 輕便防腐器 簡便哺乳器 灌腸劑

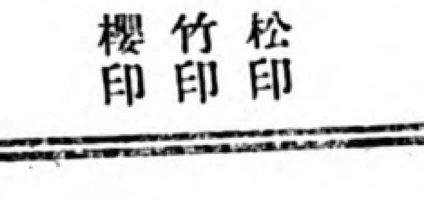
製造 東京神田表神保町一番地
兼藥劑師
發賣乳呑問屋
元
植木雄飛
電話本局三七五六
振替貯金六二九一

醫學博士榊先生、醫學博士瀨川先生、醫學博士佐々木先生、醫學博士金杉先生、ドクトル森永先生 大西先生其他諸先生の御賛稱

(完全消毒壜)

◎一本の壜にて内部のゴム板の取換により消毒壜ともなり又哺乳瓶ともなります又其蓋の開閉は甚だ容易輕便なる事他に類はありません蓋を外すには文字(特許)ある方の脚の下部に拇指を加へ上方に押上ぐれば容易に外さるべし又之を蓋するには文字なき方の脚を先づ壜口に加へ上より壓下ぐれば直に蓋すべし且品質良く丈夫にして直段も割合に廉直のです

簡便哺乳器
壹號 貳號 參號 四號

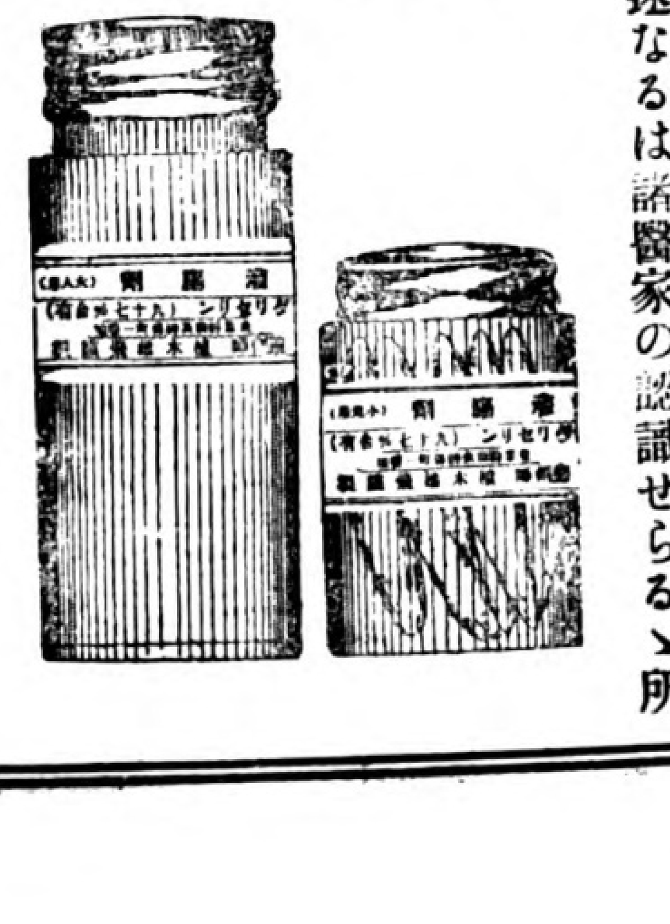


◎輕便防腐器は内部の金網も從來のものより丈夫親切なる拵へで日底の構造により湯の沸きも早く炭の入用少なく甚丈夫便利にして殊に體裁優美です

輕便防腐器(ニツケル製)

特製五本用 並製五本用 並製三本用

◎灌腸劑 妊婦及小供の便秘には尤も無害にして効用の迅速なるは諸醫家の認識せらるゝ所にして特に本品は九十七%の『リスリン』を含在精製せる本邦無類の灌腸劑なり



尚各地有名なる藥店、硝子器店、西洋食品店、に販賣せり若しなき時は御報次第代金引換小包郵便にて御送可申上候

(毎月二回、一日十五日發行)
▲定價一部金三錢五厘(郵送料共)一ケ月金七錢
●電話(番町一五二〇番 同一七四五番)
發行人 八田一精
編輯兼印刷人 竹内貞三
發行所 東京麹町區飯田町 愛國婦人發行所
印刷所 東京下谷

附錄 愛國婦人會會報

本部記事

●台臨

總裁殿下には濱尾副會長、岡田評議員其他事務員を隨へさせられ、去る十九日新橋御出發翌二十日開催の滋賀支部總會に御台臨相成り二十一日午後八時三十分無事御歸京遊ばされたり。

●職員囑託

新潟支部長(四月一日)　森うん子
群馬支部長(同)　依田じゅん子
秋田支部長(同)　桑靜子
福井支部長(同)　池松鐵子
廣島支部長(同)　中村千代子
福岡支部長(同)　川路永尾子
熊本支部長(同)　宗像つた子

●彙報

▲評議員會　去る十日本部樓上に於て評議員會開催、明治四十四年度事務報告を承認し、其他種々協議ありたり。

▲出火見舞　去三月十八日午後九時四十分、北海道廳浦河支廳出火折柄の强風に火勢猛烈を極め忽ち廳舍全部に延燒し幹事部に屬する書類物品等悉皆燒失したるにより、同二十九日阿部會長より北海道支部長並に浦河幹事部長へ宛て懇切なる出火見舞狀を差し出されたり。

地方記事

東京支部

▲支部彰功旗授與規則　東京支部に於ては今回左の如く彰功旗授與規則を設定し去る三月一日より施行したり。

愛國婦人會東京支部
彰功旗授與規則

第一條　支部長は本會に於ける會員募集の成績優良なる幹事部又は委員部に對し其名譽を表彰する爲め彰功旗及び賞狀を授與するものとす。

第二條　彰功旗は前條各部の會員一團となり左の各號に該當する公會に參列するときは其會場に樹立することを得

一、本會各部の會員總會
一、軍隊送迎
一、管理者の同意を得たる前各號以外の公會

第三條　彰功旗は明治四十四年一月一日以後に於ける新募集の成績を考査し左の等級に從ひ授與するものとす

一　等　新たに一千人以上の會員を募集したるもの
二　等　同上五百人以上の會員を募集したるもの
三　等　同上二百人以上の會員を募集したるもの

第四條　彰功旗を授與したる後尙成績優良にして其資格累進したるときは更に相當の彰功旗を授與し前きに授與したる彰功旗は返還せしむるものとす

第五條　會員數を計算するには特別會員一人を以て通常會員二人に換算す

第六條　彰功旗を授與するには支部若しくは各部の總會其他相當の場所に於て可成丁重なる式を以て之を授與するものとす

第七條　彰功旗の制式左の如し

地質鹽瀬、紫色

中央　本會の徽章　縱曲尺一尺八寸
縁　三方に蛇腹紅色糸の飾り長さ結ひ目共曲尺五寸
縱　曲尺二尺四寸
橫　曲尺三尺二寸
竿　長さ曲尺七尺樫圓形黑塗り末口圓三寸石突圓四寸にして三本繼となし繼目、石突及竿頭差込の箇所何れも裝金具を附し竿頭より五寸の箇所及四尺三寸の箇所に紐通の眞鍮小鐶を附し竿頭は圓形曲尺三寸金色にして三方面に愛國誠の一字つゝを記す

一　等　竿頭及中部小鐶の所に金モールの飾總を附着す
二　等　竿頭中部共飾總なし
三　等　地質縮緬、色紫、縁り三方蛇腹縫の飾り及竿頭中部共飾總なし。

靜岡支部

▲芳川村會員總會　靜岡支部濱名郡幹事部芳川村會員總會は同村婦人會と合し去三月十日陸軍記念日をトして第五回春季總會を舉行せり、來會者は支部より小島副長及事務員、濱名郡幹事部よりは矢野幹事部長、太田郡視學、竹內事務員臨席、同村在住評議員、幹事、來賓、遺族、會員、學校職員生徒等無慮五百餘名參列せり、午前十一時に至り式を開き坂主幹事の開會の辭、學校生徒の君か代合奏、桑原評議員の敎育勅語、坂主幹事の御令旨、大平りう子の御諭旨捧讀あり、次に戰死者遺族十四名に對し小島副長及天野幹事部長より夫々金品を贈與し、終て支部長の告辭、桑原評議員の答辭あり、續て模範會員四名に對し表彰式を行ひ受賞者總代の答辭ありて全く式を了へ休憩中來會者に晝餐を供し餘興として蓄音器及裁縫手藝品の展覽其他數百番の福引等ありて未曾有の盛況を呈し午後四時散會せり。

因に桑原楯雄氏同夫人登乃子氏は元當支部幹事部顧問及幹事部長として會務上に盡力されたる處尠からず退職後は居村に於て常に會務の普及を計り芳川村婦人會を組織し率先して質素精勵克く婦德の涵養に力め薰陶孜々として怠らず成績大に見るべきものあり又小田小學校長其他職員協力して本會事業の擴張に盡力せられたるは感謝する所なりとす。

▲安倍郡千代田村會員總會　靜岡支部安倍郡千代田村會員は去三月二十一日同村蓮永寺に於て會員總會を催し田中主事、田澤幹事部長臨席、會員及遺族等出席席上支部長より遺族へ贈與の菓子料は幹事部長より傳達し、田中主事の遺族慰問の辭に併せ會務に關する談話ありて閉會したり。

茨城支部

▲岡田村會員總會　茨城支部稻敷郡岡田村は會員數昨年迄は僅に五名に過ぎざりしが會運頓に隆盛を來し今回六十一名の多きに達したるを以て去三月十一日第一回會員總會を牛久葡萄園主神谷傳兵衞氏邸內に於て開催し支部よりは主事小澤英俊金野事務員の兩名出張せり、當日恰も坂知事同夫人木間瀨內務部長同夫人は關川勸業課長を隨へ葡萄園視察の爲め出張せられたるを以て同式場に參列せられたり、式は午後一時より始まり鈴木委員の令旨捧讀、坂支部長の告辭、松浦稻敷郡幹事部長、神谷傳兵衞其他の祝辭あり、之に對し委員答辭を述べ、兩陛下、總裁殿下愛國婦人會の萬歲を三唱し、午後二時式を終れり、當日の來會者は千有餘名にして餘興には烟火、擊劍等あり、來賓には記念品、折詰等を呈し頗る盛況を極めたり。

鳥取支部

▲産業獎勵會規定幷パテンレース講習規定　鳥取支部に於ては本會々員に産業を獎勵し傍ら慈善事業援助の爲め勞力寄附の目的を以て今回左記の如く産業獎勵規定及パテンレース講習規定を設定したり。

愛國婦人會鳥取支部産業獎勵規定

第一條　本規定は愛國婦人會員へ産業を獎勵し勤儉貯蓄の志操を助成し餘資を以て慈善事業の援助を目的とす。

第二條　獎勵すべき産業は手工とし其槪目左の如し。

一、パテンレース　二、經木眞田　三、麥稈眞田　四、狀袋　五、雜巾

第三條　本規定に關する事務は支部、幹事部、町村委員に於て執行し尙左の役員を置く。

産業督勵員　若干名

産業督勵員は支部長に就て囑託し支部長及幹事部長の命を受け町村委員の附屬とす。

第四條　支部は隨時各種産業敎師を囑託し會員へ講習を爲すものとす、其方法規定は別に定む。

第五條　支部は第二條手工の材料を實業者より提供せしめ幹事部又は町村委員を經て會員へ配付するものとす。

第六條　會員は製作を終りたるときは其時々又は每月取纏め町村委員又は幹事

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

部へ送附し町村委員、幹事部は支部の指揮に依り處分するものとす。

第七條、製作賃錢は別表に定むる所に依り幹事部又は町村委員を經て支給す。

第八條、會員は勞力一日分の賃錢を支部に納め支部の認めたる慈善事業援助の資に充當す。

第九條、會員は別紙樣式第一號に依り町村委員、幹事部を經て其希望手工を支部に届出づるものとす、但二科目以上を希望するも妨げなし。

第十條、町村委員、幹事部、支部は別紙樣式第二號乃至第八號に依り臺帳及出納簿手工人名簿を設け材料の受授賃錢の出納等を明記し且つ報告すべし。

第十一條、產業督勵員は受持區内を巡視し手工の方法を指導奬勵し及手工材料の受授等專ら會員の便益を計るべし。

（別紙樣式略す）

パテンレース第一回講習規定

第一條、支部產業奬勵規定に依り愛國婦人會員へ產業奬勵の爲めパテンレース第一回講習會を開く。

第二條、講習會の場所及講習日數左の如し。

講習會場　各幹事部内
同日數　三日

第三條、講習會員は愛國婦人會員同賛助員に限る但愛國婦人會員同賛助員の戸籍内に在る祖母、母、子、姉妹並に廢兵、軍人遺族は特に講習を受くることを得。

第四條、講習會講師の報酬旅費は支部に於て支辨し會場設備は幹事部の負擔とす。

第五條、講習會員は指定の日時場所に集合し講習を受け別に費用を要せず、但特別の事情あるときは會員の居宅に於て講習を受くることを得。

第六條、講習會場所及日時は幹事部に於て選定し支部へ打合の上之を發表するものとす。

第七條、講習會員には講習終了の上支部長より講習證明書を授與す。

島根支部

▲軍人遺族優待　去三月十日濱田招魂祭擧行に付き島根支部に於ては軍人遺族優待の爲め主事を出張せしめ式場附近に優待所を設け那賀郡幹事部顧問と共に其趣旨を傳へしめ、郡幹事部長並に所在幹事及會員數名は交互旋幹し參拜遺族を慰め出席者三百七十人に對し特製の菓子折を丁寧に交附せしが何れも其待遇の厚きに感謝せり。

福岡支部

▲粕屋郡香椎村會員總會　福岡支部内粕屋郡幹事部香椎村に於ては去三月十六日同地尋常小學校内にて會員總會を開催す、參會者百四十名、支部よりは岡村主事、幹事部よりは新納顧問以下各事務員臨席し、午後一時開會、委員の開會の辭に次ぎ、岡村主事支部長の祝詞を代讀し、新納顧問の祝詞、岡村主事の會務に關する講話等あり、尚支部長よりは廢兵並遺族へ寄贈品あり、拜受者何れも只管感涙に咽びたり、式後會員には茶菓の饗應を爲し薄暮散會せり

岩手支部

▲順廻幻燈會　青森支部に於ては本會主旨普及の爲め順廻幻燈會を催したるか其の概況を記せば、

二月二十四日午後七時より西津輕郡川除村小學校内に於て開催す、來會者三百餘名定刻に至り同村委員の開會の辭、幹事部長代理の挨拶あり、それより支部事務員説明の下に順次戰地に送る慰問袋荷造等の爲め本會職員及會員の奔走、戰場に於ける慰問袋被贈軍人の喜悦等の實況を映寫したるが頗る盛會なりき。此外二月二十六日、柏村第二尋常小學校に於て開催、來會者五百餘名。同二十八日、森田村育成尋常小學校内に開く、來會者無數、同二十九日、森田村森田高等小學校内に於て開催す、來會者約六百名、三月三日、鰺ケ澤町高等小學校内に於て開催す、以上共に非常の良成績を告げ本會主旨普及の目的を達する事を得たり。（信通）

福井支部

▲福井市幹事部慰藉會　福井支部福井市幹事部に於ては去る三月九日を以て遺族及廢兵諸氏に對し慰藉會を當市昇平座に於て開催せり、會場は清洒なる裝飾を施し職員其間に於て幹旋の勞を執る、席定まるや幹事部長に代り顧問より一場の挨拶あり、續て本會の趣旨を述べて更に倍々會の發展を希ふ旨を演述し、終て遺族廢兵へ折詰の饗應を爲し、尚餘興として浪花節二席、能二番、狂言二番、演劇一幕の催ありたるが當日の來會者は總數千四百五十餘名、内遺族廢兵二百九名にして實に近來になき盛況を極めたり。（通信）

高知支部

▲西津野村會員總會　高知支部高岡郡幹事部内西津野村に於ては去三月十七日同村小學校内に於て會員總會を開催したり、當日は折惡しく風雨烈しく特に山間の地往來極めて困難なりしにも拘はらず出席者五十餘名に達し午後三時開會、來賓には高岡郡幹事部德永顧問、其他竹村同郡會議長、三木稅務署長、支部主事山本義則氏其他臨場、先づ同村委員西村初子の開會の辭に次ぎ君か代の奏樂、御令旨並御諭旨の捧讀等あり、夫れより同村會員規約六ケ條を議定したり。

右終て山本主事支部長の祝詞を代讀す、次で乾幹事部事務員幹事部長の祝詞を代讀す、次で德永幹事部顧問、三木稅務署長、會員總代氏原雪子等諸氏の祝詞演説あり、大野委員の挨拶にて式を終り、尚後茶話會の催ありて頗る盛會を極め、會員には各記念品を配付し午後六時過散會したり。

因に當日は兒童學藝品の展覽並に生花煙火等の催あり、殊に今回の總會に際し百餘名の會員悉く本年の會費を皆納し且十三名の新入會員ありたるは必竟職員諸氏の熱誠盡力の致す所として本會の爲め誠に感謝に堪えざる所なりとす。

神奈川支部

●明治四十四年度事務成績

▲本年度に於ては幹事の解囑死亡に際し其成績を調査し優秀のものには相當慰勞の内規を設定して職員奬勵の途を開きたり。

▲三十七八年戰役の際下賜せられたる銀盃の披露式を鎌倉郡幹事部に於て擧行の折り支部長、副長、主事、事務員等臨場の上支部長より會務擴張の主旨を兼ね祝詞を述べらる。

▲足柄下郡幹事部第一回總會の擧行あるや支部長、顧問、主事、會計監督、事務員等臨場廢兵遺族を招待して此を欵待し支部長は參會の遺族廢兵に臨時救護金を寄贈し懇篤之を慰安したり。

▲來る四十五年度に於ては支部第三回總會を開催し會員四千三百三十三人の增募を企畫し、大に會務の發展を計り同時に會費の整理を爲さんと期し其方法を各幹事部長に指示せり、又軍人の遺族及廢兵に關しては定期に於て救護したるもの三百六十六人此救護金額三千八百十五圓内金千五百九十二圓は本部より金二千二百二十三圓は支部より支出し、又臨時に救護したるもの十七人此金額百五十圓内金三十二圓は本部より百十八圓は支部より支出し、生業補助としては九十七人へ金二百七十六圓五十錢を支出したり然りと雖も救護の効果は未だ全きを得たるものと認め難く來年度よりは層一層調査を重ね尚進んで救護の途を擴め萬遺憾なきを期せんとす。

山口支部

●明治四十四年度事務成績

▲救護金、廢兵生業扶助として金十圓を支出せり。

▲事務概況、當部内に於ける會員は年々減少の狀況を來せしを以て各幹事部長及同顧問に屢々諭告して之が補充の途を講ぜしめしに尚退會續出の傾向を免れざるを以て一面受持幹事區總會開設を督勵して漸く八ケ町村の總會を開設するの運に至る爲めに補充費並募集費として六百十九圓三十二錢五厘を支出せり、而して此總會開設に當りては終始主事を派遣して本會の趣旨及救護方法等を演述せしめ傍ら當部備付の幻燈により廢兵遺族生計扶助等の映畫を觀覽せしめ其救護狀況を巨細に説明する等百方力を盡し以て今日の現狀を維持するの狀態なり。

▲會計

收入の部

金一千五百三十八圓三十錢	前年より越高
金六千百九十一圓十八錢	會費步合
金四千八百五十六圓四十二錢	預金利子
金四圓九十三錢	雜入
計一萬二千五百九十圓八十三錢	

支出の部

金二千九百九十五圓七十七錢一厘	支部經費
金二千六百四十圓十八錢三厘	幹事部經費
金六百十九圓三十二錢五厘	會員募集諸費
金五千圓	剩餘基本金組入
金一千三百三十五圓五十五錢一厘	翌年度越高
計一萬二千五百九十圓八十三錢	

▲會員、新入會員三百九十八名、退會及死亡者三百六十名、轉入者總計百九十七名、轉出者二百五十七名、醵金皆納者四百四十五名なり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

明治四十四年度（暦年）
愛國婦人會事務成績報告書

四十四年度事務成績の大要を各項に區別し報告する事左の如し

○總會　本會第十回會員總會は五月九日東京市日比谷公園に於て開く當日皇后陛下行啓在らせられ左の令旨を賜ふ

本日愛國婦人會の總會に臨み益々會員の增加するを見るを喜ぶ

總裁殿下の奉答左の如し

愛國婦人會は創業以來既に十年を經忠愛なる會員の協贊を得て益々隆盛に向へり是れ全く至仁至慈なる陛下の殊恩に由らずんば非ず玆に第十回會員總會を開くに方り畏くも陛下の親臨を辱ふし優渥なる令旨を賜ふ本會の光榮何を以てか之に加へん伏して惟みるに陛下夙に癈兵遺族の救護に軫念あらせられ眷護の厚き智惠子等感激の至りに堪へず自今一層奮勵懿旨に副ひ奉らんことを謹みて奉答す

名譽會員東伏見宮妃殿下御台臨あり參列者總數約壹萬三千人內東京支部に屬する遺族癈兵千八百六十人にして最も靜肅に終了せり

此總會に於て評議員の改選を行ひたり其結果は別項にあり

○支部總會　本年中總會を開催したる支部左の如し

但し各支部共總會に對し御諭旨を賜はりたり

茨城支部第一回總會　三月十九日
總裁殿下御台臨參列者約千人內遺族癈兵約百人

石川支部第二回會員總會　四月三日
總裁殿下御台臨參列者約六千五百人內遺族癈兵約千五百人

富山支部職員總會　四月五日
總裁殿下御台臨參列者約千人當日は特に遺族癈兵を招きて慰藉せり其參集せしもの約二千人

香川支部第二回會員總會　四月九日
總裁殿下御台臨參列者約九千人內遺族癈兵約二千人

京都支部第九回會員總會　五月廿一日
總裁殿下御台臨參列者約三千五百人內遺族癈兵約三百人

朝鮮本部第二回會員總會　五月廿七日
昌德宮李王妃殿下特に台臨在らせられ金壹千圓を賜ふ評議員伯爵夫人寺內瀧子氏臨席す參列者約五百人

長崎支部第五回會員總會　十月廿九日
會長伯爵夫人阿部篤子氏臨席す參列者約千七百人內遺族癈兵約百八十人

高知支部第二回會員總會　十一月卅日
總裁殿下御台臨參列者約五千人內遺族癈兵約二千五百人

幹事部會員總會　岩手支部盛岡市幹事部外十二ヶ所

町村會員總會　佐賀支部三里村外二十五ヶ所

朝鮮に於ける支部會員總會　光洲支部外二ヶ所

朝鮮に於ける委員部會員總會　羅南委員部外四ヶ所

○本年中本部職員の異動　本部評議員は本年任期滿了に付き第十回會員總會に於て改選せられ尙會長理事監事等選擧の結果左の通就職せり

理事　會長　伯爵夫人　阿部篤子
同　副會長　男爵夫人　濱尾作子
同　三輪田眞佐子
同　有島幸子
同　棚橋絢子
同　男爵夫人　關郁子
同　古市幸子
同　高木鏷子
同　山脇房子
同　前子爵夫人　丹羽花子
監事　山本たほ子
同　高橋壽々子

評議員（いろは順）

公爵夫人 一條悅子　公爵夫人 二條治子
公爵夫人 大山捨松　公爵夫人 九條惠子
公爵母堂 近衞貞子　公爵夫人 三條千代子
公爵母堂 毛利安子　侯爵夫人 池田亨子
侯爵夫人 細川孝子　侯爵夫人 鍋島榮子
侯爵母堂 野津とめ子　侯爵夫人 黑田清子
前侯爵夫人 佐々木貞子　侯爵夫人 佐竹祚子
侯爵夫人 木戶壽榮子　伯爵夫人 伊東美津子
伯爵夫人 板垣絹子　前伯爵夫人 井伊常子
伯爵夫人 戶田極子　伯爵夫人 東鄉鐵子
伯爵夫人 大隈綾子　伯爵夫人 小笠原貞子
伯爵夫人 榛山とも子　伯爵夫人 香川須磨子
伯爵夫人 南部嚴子　伯爵夫人 黑木百子
伯爵夫人 兒玉まつ子　伯爵夫人 寺內瀧子
伯爵夫人 有馬豐子　前伯爵 伯爵夫人 佐々木行子
子爵夫人 井上光子　子爵夫人 井伊增子
前子爵夫人 岩倉梭子　子爵夫人 伊集院春子
子爵夫人 花房千鶴子　子爵夫人 長谷川辰子
子爵夫人 西美喜子　子爵夫人 細川同子
子爵夫人 本莊孝子　子爵夫人 戶田時子
子爵夫人 鳥居嶺子　子爵夫人 岡部抵子
子爵母堂 大河內美能子　子爵夫人 小笠原秀子
子爵夫人 川村清子　前子爵夫人 鍋島輝子
前子爵夫人 鍋島易子　子爵夫人 鍋島貞子
子爵夫人 籔篤子　子爵母堂 山路謙子
子爵夫人 松平八百子　子爵夫人 松平精子
子爵夫人 松平芳子　子爵母堂 櫻井錦子
子爵夫人 佐竹鏆子　子爵夫人 淸浦錬子
男爵夫人 岩崎寧子　男爵夫人 伊集院繁子
男爵夫人 原口せき子　男爵夫人 波多野爲子
男爵夫人 尾崎八重子　男爵母堂 大藏松子
男爵夫人 高木富子　男爵夫人 宇佐川稱子
男爵夫人 安場とも子　男爵夫人 松平須磨子
男爵母堂 松村琴子　男爵夫人 福島貞子
男爵夫人 小早川式子　男爵夫人 有地拾子
男爵夫人 佐藤靜子　男爵夫人 阪井春子
男爵夫人 目賀田逸子　男爵夫人 三井苞子
男爵夫人 澁澤兼子　男爵夫人 千家俊子
伊澤千世子　岩佐千賀子
鳩山春子　原禮子
早川里子　新山雅樂子
保利久土　本鄉きみ子
豐島文子　岡田德子
尾崎英子　大迫隆子
大久保榮子　押川愛子
大谷かち子　小野田安子
大島富子　大塚富世子
渡邊源子　渡邊稻子
片山龜子　龜井眞洲子
加藤眞佐子　武田錦子
園田鉦子　津田梅子
鶴原誠子　長井とし子
中井かね子　南部幸子
永井兼子　宝田勢以子
村上須磨子　柳谷千代子
安田房子　安田暉子
松浦鳥子　松崎悅子
益田貞子　松平逸子
近藤從子　江木中子
跡見花蹊　靑山孝子
阿部龍子　安藤菊子
佐方鎭子　澤よし子
菊地咸子　三井照子
三井五十子　三井壽天子
三井榮子　水野滿壽子
下田歌子　澁谷知和子
島田信子　下岡まつ子
淸水米子　弘田增子
仁杉歌子　平岡夏子

右改撰後の異動左の如し

轉住に付退職　評議員　安藤菊子

○會員數　明治四十四年十二月末日現在會員は八十萬六千八百八十七人にして同年內入會せし會員は參萬貳千三百四十一人（特別會員二千二十五人通常會員三萬三百十六人）退會死亡除名等壹萬八千三百五十七人なり

○規則設定及改正

一朝鮮本部規則改正
一諸規則中一部の改正
一本會々歌設定
一愛國婦人會發行所規則改正

○本年中有功章及特別謝狀贈與數左の如し

一特別徽章　十三人
一壹等有功章　六十四人
一貳等有功章　百三十二人
一參等有功章　六百九十九人
一特別謝狀　三百七十九人

○本部職員支部出張　理事濱尾作子評議員三井五十子の兩氏は茨城支部總會に副會長阿部篤子評議員有島幸子の兩氏は石川、富山、香川支部總會に理事山脇房子評議員三井五十子の兩氏は京都支部總會に會長阿部篤子理事丹羽花子の兩氏は長崎支部總會及廣島支部呉市深安郡兩幹事部總會に理事高木鏷子評議員仁杉歌子の兩氏は高知支部總會に理事棚橋絢子氏は靜岡支部幹事部長會に臨席の爲め出張し評議員寺內瀧子氏は朝鮮本部總會の當時朝鮮京城に滯在中なりしを以て同總會に臨席せり

○援護事業　本會の目的たる軍人の遺族幷に癈兵を援護する事業は年を逐ふて發達し全國の軍人遺族癈兵にして生計困難なる者に定期又は臨時に現金を贈與して生計を幇助し又本部に於て四十二年三月創設に係る教養所の四十四年一月一日現在教養生は六十三名四十四年三月收容せしもの六名內四十四年陸軍幼年學校へ入校せしもの五名あり同年中事故退所せし者貳名差引四十四年末現在六十七名にして內陸軍幼年學校に七名中學校に貳拾四名高等及尋常小學校に參拾六名在學せり又各支部に於て救護方法を講究し適當なる事業を興し既に東京、大阪、秋田、富山の如きは其地方に適合せる業を選みて之に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

從事せしめ以て生計を援助しつゝあり而して之に要せし本支部の支出金額は左の如し

四十四年度に於ける本部支出の救護總支出金拾壹萬參千九百八拾七圓參拾九錢五厘にして之を大別すれば個人現金贈與のもの金九萬參千貳百拾四圓拾六錢事業補助に屬するもの金九千百七拾六圓八拾五錢教育に屬するもの金壹萬千五百九十七圓參拾八錢五厘又各支部支出の救護金は金六萬四千百貳拾壹圓六拾參錢五厘にして之を大別すれば個人現金贈與のもの金五萬參百八拾參圓拾九錢事業補助其他の支出に屬するもの金壹萬參千七百參拾八圓四拾四錢五厘なり以上の金額を合計すれば金拾七萬八千百拾圓參錢にして明治三十四年本會創立以後の此種に屬する總支出額は金百萬參千參百八拾壹圓四拾五錢なり

○慰問袋寄贈　昨年本會首唱となり臺灣生蕃討伐隊へ寄贈の目的を以て各支部へ慰問袋の募集を依頼せしが本年は其第二回の蒐集を依頼して其結果左記の通り蒐集し得たり依て悉く臺灣支部長へ送付し該討伐隊へ寄贈の手續を依頼せり

一慰問袋　二千七十三袋
一同料金　金五千貳百五十九圓四十錢

○一月七日　本會首唱者故正七位勳六等奥村五百子氏の五週忌法要を淺草本願寺に於て執行せり

○三月三十日　日英博覽會より昨四十三年本會の出品に對し名譽大賞を受領せり

○五月五日六日　靖國神社臨時祭執行に付參拜遺族接待所を本會本部に設け來集の遺族九十四名へ茶菓を饗し紀念として扇子並に總裁殿下御染筆復寫を贈與せり

○六月十四日　春季慰問として會長阿部篤子氏は理事有島幸子、山脇房子評議員井伊常子、目賀田逸子、保利久土、南部幸子、佐方鎮子諸氏と共に本會を代表して東京癈兵院に到り在院癈兵を慰問し菓子煙草料を寄贈せり

○十一月廿五日　驅逐艦春雨號乘組將卒の遭難に對し佐世保鎮守府司令長官へ宛て弔詞を發し十二月一日弔慰金を贈呈せり

○十一月廿九日　秋季慰問として會長阿部篤子副會長濱尾作子の兩氏は理事關郁子、古市幸子、丹羽花子、評議員井伊常子、本莊幸子、井伊增子、長谷川辰子、大島富子、室田勢以子、原口關子、細川同子、跡見花蹊、有地拾子の諸氏と共に東京癈兵院に到り在院癈兵を慰問し菓子煙草料を寄贈せり

明治四拾四年度本部會計決算報告

○基本金之部

一金八拾八萬七千八百五拾六圓五錢參厘　四十參年度より越高
一金六拾五圓拾五錢　贊助金歩合
一金拾壹萬八千五百貳圓拾八錢貳厘　會費其他剩餘金繰入
計金百萬六千四百貳拾參圓參拾八錢五厘　四十五年度へ越高

○固定資産之部

一金四萬參千參百六拾八圓五拾六錢　四十參年度より越高
内
金千四百圓　東京、大阪支部より返納金收支勘定へ繰入
差引金四萬千九百六拾八圓五拾六錢　四十五年度へ越高

○用途指定寄附之部

一金四拾圓　四十參年度より越高
一金六圓　寄附金
計金四拾六圓　四十五年度へ越高

○收支勘定之部

收入之部

一金拾六萬貳千圓　四十參年度より越高
一金貳拾壹萬參千八百四拾四圓六拾三錢三厘　會費歩合收納高
此内譯
金貳拾壹萬貳千貳百拾五圓四拾七錢三厘　各支部納金
金千五百七拾九圓拾六錢　朝鮮本部其他委員部及直納高
金五拾圓　過年度收入
一金四萬九千百五拾四圓貳拾七錢　雜收入
此内譯
金壹萬參千九拾七圓五拾錢　預金利子
金參萬五千九百拾壹圓拾貳錢　債券利子
金百壹圓拾參錢　徽章再渡代
金四拾四圓五拾貳錢　雜入
一金千四百圓　貸費戻入
一金八百四拾壹圓五拾錢　元九州鐵道株式會社殘餘財産配當金
計金四拾二萬七千二百四拾圓四拾錢三厘

支出之部

一金七千貳百九拾六圓六拾九錢　事務費
此内譯
金四千八百貳拾七圓貳拾貳錢　諸給
金百五拾圓四拾錢　旅費
金八百九拾貳圓六拾貳錢　借地料
金百拾圓七拾錢　辨當料
金百拾九圓拾六錢　筆紙墨費
金參百八圓九拾五錢　郵便電信費
金六拾貳圓五拾五錢　器具費
金六拾八圓九拾錢　車代
金四百拾壹圓　營繕費
金參百四拾五圓拾九錢　諸雜費
一金貳萬七千四百五拾參圓拾參錢六厘　事業費
此内譯
金千七百九拾七圓九拾錢　印刷費
金參千四百七拾九圓參拾八錢　徽章製作費
金七千參百拾六圓參拾四錢八厘　總會費
金五千百九拾圓五拾九錢五厘　支部總會臨場費
金千參百八拾參圓五拾壹錢　擴張諸費
金八百參拾壹圓七錢　接待費
金六千八百六拾壹圓拾錢　慰勞贈與費
金四百參拾七圓八拾參錢參厘　運送費
金百五拾五圓四拾錢　雜費
一金拾壹萬參千九百八拾八圓參拾九錢五厘　救護費
此内譯
金七萬九千九百九拾壹圓
金千百四圓拾六錢　定期救護金
金壹萬貳千百拾九圓　臨時救護金
金壹萬千五百九拾七圓參拾八錢五厘　特別救護金
金九千百七拾六圓八拾五錢　救養所費
　事業補助費
合計金拾四萬八千七百參拾八圓二拾二錢一厘　支出總額
外ニ
金拾壹萬八千五百貳圓拾八錢貳厘　剩餘金の内基本金へ繰入
總計金貳拾六萬七千貳百四拾圓四拾錢三厘
差引金拾六萬圓　四十五年度へ繰越
外ニ
金五拾參圓九拾六錢五厘　寄託金四十五年度へ繰越

明治四十四年度末資産負債表

負債之部（貸方）

一金百萬六千四百貳拾參圓參拾八錢五厘　基本金
一金四萬千九百六拾八圓五拾六錢　固定資金
一金四拾六圓　用途指定寄附金
一金拾六萬圓　收支勘定剩餘金
一金五拾參圓九拾六錢五厘　寄託金
合計金百貳拾萬八千四百九拾壹圓九拾壹錢

資産之部（借方）

一金五拾七萬千五百拾八圓拾錢　公債證書
但此額面五分利公債五拾七萬八千貳百圓四分利公債拾萬圓
一金拾五萬五千貳百拾圓　勸業債券
但此額面五分利債券拾六萬圓參分利
一金參拾貳萬圓　銀行定期預金
此内譯
金五萬圓　森村銀行
金四萬八千圓　拾五銀行
金五萬五千圓　日本興業銀行
金五萬圓　第三銀行
金壹萬圓　第一銀行
金四萬圓　浪速銀行
金五萬圓　加島銀行
金壹萬七千圓　日本勸業銀行
一金九萬六千九百八拾七圓拾八錢　銀行當座預金
此内譯
金壹萬九千百八拾四圓貳拾七錢　森村銀行
金七千百九拾貳圓四拾五錢　拾五銀行
金貳萬四千參拾六圓八錢　日本興業銀行
金貳萬四千五百六拾九圓六拾壹錢　第三銀行
金七百五拾圓八拾錢　第一銀行
金貳萬千圓八拾四錢　加島銀行
金貳百五拾參圓拾參錢　日本勸業銀行
一金壹萬四千五百五拾圓　各支部へ貸與金
一金貳萬參千七百貳拾四圓九拾五錢　所有家屋
一金參千六百九拾參圓六拾壹錢　備付什器
一金貳萬貳千八百圓　四十五年度經費繰替金
一金八圓七錢　現在金
合計金百貳拾萬八千四百九拾一圓九拾一錢

支部會計決算報告

收入之部

一金四拾壹萬千四百八拾七圓貳拾八錢七厘　基本金
一金四拾七萬七千五百拾六圓八拾三錢二厘　救護資金
一金四拾四萬九千貳拾壹圓六拾四錢九厘　經費資金
計金百參萬八千貳拾五圓七拾六錢八厘　四十三年度より越高
一金五拾五萬八千參百六拾五圓三拾三錢一厘　本年度會費贊助金醵集高
一金貳萬六千貳拾貳圓六拾四錢參厘　寄附金
一金五千九百四拾參圓貳拾六錢五厘　府縣補助金
一金八萬九千百六拾七圓八拾五錢　本部より救恤配當及事業補助金
一金拾貳萬千五百六拾壹圓七拾四錢四厘　預金債券利子其他諸收入
計金八拾萬千六拾圓八拾參錢參厘　本年度總收入
合計金百八拾參萬九千八拾六圓六拾錢一厘

支出之部

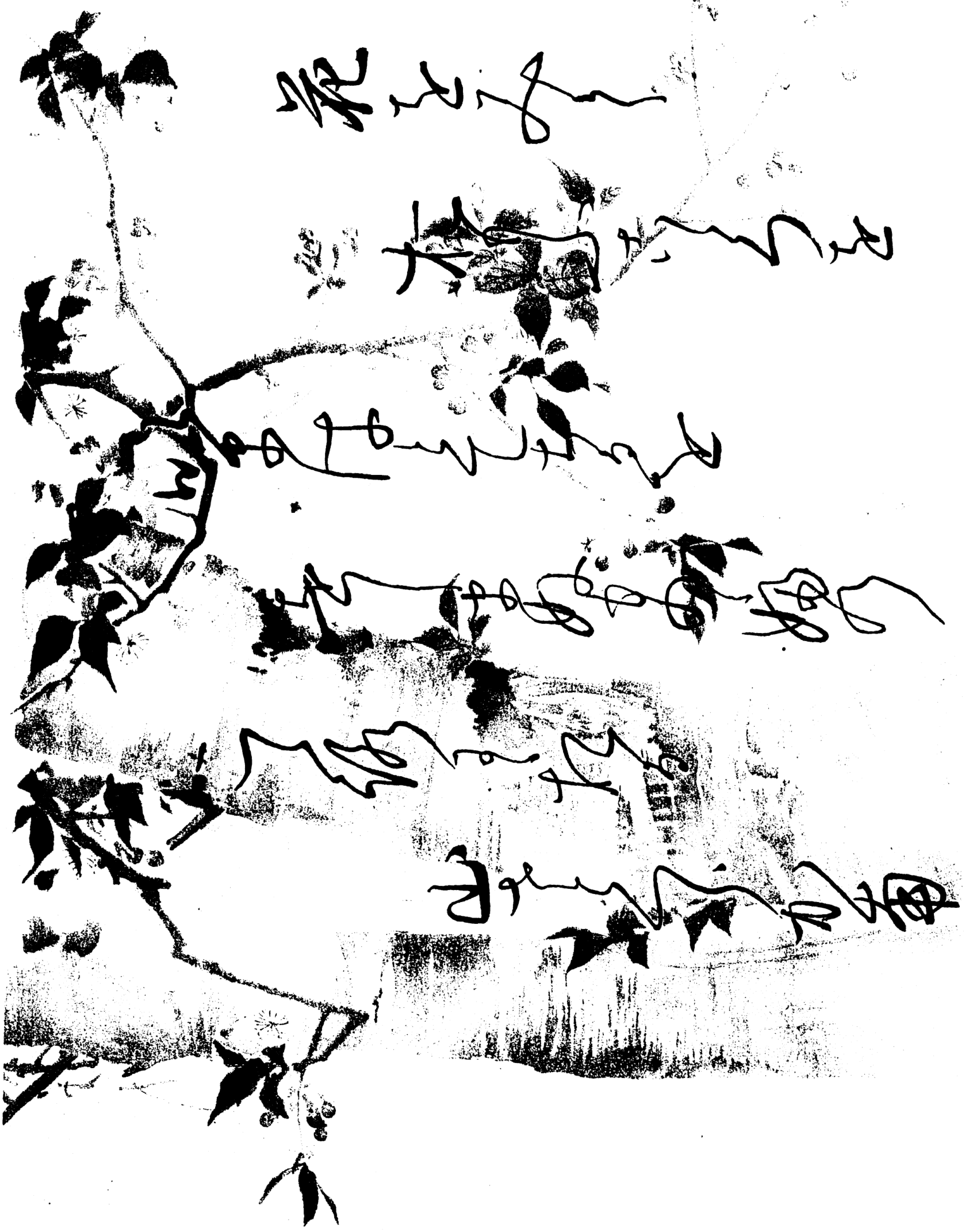
一金貳拾壹萬貳千貳百八拾圓六拾貳錢參厘　會費贊助金歩合本部納
一金拾五萬千六百八拾九圓四拾八錢五厘　諸救護支出
一金貳拾九萬七千八百九圓四拾四錢四厘　諸經費支出
計金六拾六萬千七百七拾九圓五拾五錢二厘
差引金百拾七萬七千參百七圓四錢九厘　四十五年度へ繰越高各支部保管
内
金四拾九萬六千參百貳拾參圓九拾錢四厘　基本金
金五拾壹萬七千參百貳拾二圓六拾五錢四厘　救護資金
金拾六萬參千六百六拾圓四拾九錢壹厘　經費資金

右之通相違無之候也
明治四十五年三月廿五日

愛國婦人會

愛國婦人二百四十七號附錄　發行人　八田一精　編輯兼印刷人　竹內貞三　發行所　東京麴町區飯田町　愛國婦人發行所　印刷所　東京小石川區久堅町　博文館印刷所

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



明治三十五年三月二十七日第三種郵便物認可
明治四十五年四月二十二日[illegible]二十四日發行

（[illegible]第二百四十七號[illegible]）

編輯兼發行人兼印刷人　竹[illegible]　内田[illegible]

發行所　印刷所　東京市小石川區[illegible]　[illegible]株式會社印刷所

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN